

クラブのあゆみ

半田ロータリークラブ

創立	1951年5月16日	承認	1951年6月6日
チャーター ナイト	1951年10月18日	チャーター メンバー	23名
スポンサー クラブ	名古屋ロータリークラブ	分区	南尾張分区
会員数	59名(2008年6月末日現在)	例会日時	木曜日 12時30分~
例会場	半田商工会議所3階 〒475-0874 半田市銀座本町1-1-1		TEL: (0569)21-0311
事務局	〒475-0874 半田市銀座本町1-1-1 半田商工会議所2階 TEL: (0569)21-0301 FAX: (0569)26-3100		
	URL: http://www.cac-net.ne.jp/~ri7809/	mail: ri7809@cac-net.ne.jp	

■進化の10年

1998年、R I 第2760地区尾張第一分区より南尾張分区に名称が変更となる。同年、半田ジュニアプラスバンド結成に支援金として50万円の協賛。継続事業の半田病院「院内コンサート」を実施。

1999年8月より青少年交換としてフィンランドへの派遣と受け入れを行う。

2000年3月、当クラブのホストにて南尾張分区IMを、名鉄グランドホテルを会場に全員登録で開催。4月には2つ目のRCCとして半田国際交流ネットを結成、認証状伝達式を行った。

2001年4月から6月にかけ創立50周年記念事業として、中野良子トークショー・国際交流会、半田市への大気観測モニュメントの寄贈、名古屋フィルハーモニー交響楽団「名曲コンサート」、50周年記念式典、家田莊子トークショーと多彩な事業を展開した。同年、「職業観と将来の夢」というテーマで中学生のための新世代フォーラムを開催。



創立50周年記念式典(半田市福祉文化会館にて)

2003年2月には社会奉仕委員会、職業奉仕委員会合同事業として、半田常滑看護専門学校の学生(180名)に骨髄バンク登録の説明と講演会を開催。56名の提供登録があった。

2004年5月30日「ゴミゼロ」の日には、半田南RCと共同で「新緑の集い」と称し、半田市の任坊山公園一帯の清掃活動を行った。

2005年愛知万博ロータリー館にて家族同伴例会を実施。

2006年創立55周年記念例会を蒲郡プリンスホテルにて開催。

2007年2月愛知県立ひいらぎ養護学校にて「ふれあいコンサート」を開催。ロータリー大賞を再開し地元で貢献している団体を表彰した。同年7月例会場の半田商工会議所にAEDを寄贈。

2008年2月にはCLP導入のため、検討委員会を立ち上げ、クラブの活性化に向け推進している。



ふれあいコンサート(愛知県立ひいらぎ養護学校にて)

常滑ロータリークラブ

創立	1966年5月30日	承認	1966年6月11日
チャーターナイト	1966年11月27日	チャーターメンバー	24名
スポンサークラブ	半田ロータリークラブ	分区	南尾張分区
会員数	51名(2008年6月末日現在)	例会日時	金曜日 12時30分～
例会場	あいち知多農協本部ビル6階 〒479-0843 常滑市多屋字茨廻間1-111		
事務局	〒479-0843 常滑市多屋字茨廻間1-111 あいち知多農協本部ビル1階 TEL: (0569)34-8698 FAX: (0569)34-9490		
	URL: http://www.tac-net.ne.jp/~toko-rc/ mail: toko-rc@tac-net.ne.jp		

■進化の10年

私たち常滑ロータリークラブは、知多半島の西岸中央部に位置し、常滑市(人口5万4,000人)を中心にクラブを組織し、設立以来42年目を迎えたクラブである。

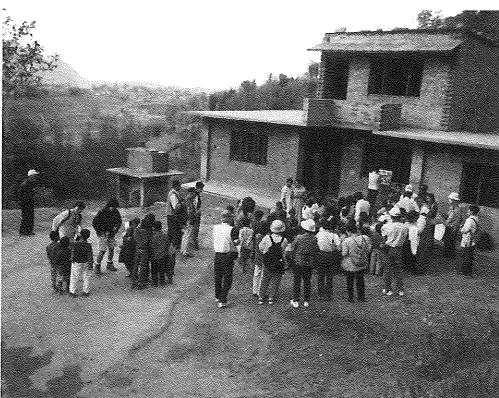
奉仕活動については、WCSでは1993年より2003年まで、ネパールのバグスリ小学校の建設に携わった。JALの山本機長のご提案により、活動に入った次第である。毎年国際奉仕委員長以下数名をもって現地を訪れ、建設の経過を見るに、年を数えるごとに教室が増え、子どもたちの目の輝きも変わり、生き生きとしてきた。10年計画の活動ということで、最後の年は小学校もできあがり、クラブとして感慨深いものがあった。

2006年には、創立40周年の事業として、常滑市に対しAED(自動体外式除細動器)を7台寄

贈し、小中学校・体育館などに設置した。また、「とことこバス」(常滑市内循環バス)運行費用の一部負担として、500万円を運行委員会に寄贈。土日・祭日の運行だが、「焼き物散歩道」との利便性が優れており、観光客に利用されている。

社会奉仕のRCCについては、常滑ハートケアサークルを設立した当初より、積極的に不登校児の問題にかかりわり、小中学校の先生と協議を行い、生徒の不登校撲滅を図っている。

また、地域の社会奉仕の一環として、常滑市によって組織され、各地区(小学校ごと)に設けられたスクールガードに対し、2006年より帽子・ベスト・腕章を教育委員会を通じて寄贈し、子どもたちの下校時の安全確保に寄与している。



WCS活動として建設途中のネパールの小学校



創立40周年記念事業の常滑市へのAED7台の贈呈式

東海ロータリークラブ

創立	1969年4月30日	承認	1969年5月9日
チャーター ナイト	1969年10月12日	チャーター メンバー	22名
スポンサー クラブ	名古屋港ロータリークラブ	分区	南尾張分区
会員数	62名 (2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分～
例会場	新日鐵公園クラブ 〒476-0015 東海市東海町4-70-1		
事務局	〒476-0013 東海市中央町4-2 東海市立商工センター305 TEL: (0562)33-8255 FAX: (0562)33-8257 URL: http://www.medias.ne.jp/~tokai-rc/ mail: tokai-rc@ma.medias.ne.jp		

■進化の10年

東海ロータリークラブは、2009年4月に創立40周年を迎える。この間、会員同士が切磋琢磨しながらロータリー精神を学び、また、時代のニーズに合わせたさまざまな奉仕活動を行ってきた。特にこの10年間は「新世代のための事業」と「世界社会奉仕(WCS)活動」に力を注いでいる。

「新世代のための事業」では、ボーイスカウトや子ども会連絡協議会など青少年団体の育成、少年剣道大会や少年野球大会、中学校駅伝大会の支援を行っている。

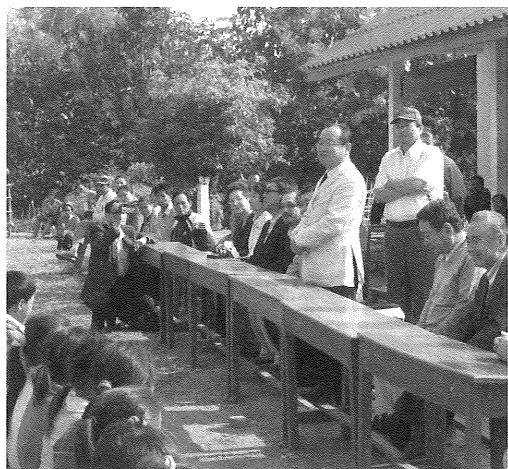
また、「WCS活動」では、クラブ独自で20年前からタイ3360地区の4RC(シラアサナRC、ウタラディットRC、ピチャイRC、ラブレイRC)、フィ

リピン3800地区(カルカンノースRC)および3810地区(パサイミアRC)との友好と、学校施設への支援などそれぞれの地区的社会開発を推進してきた。近年は、地区が学校建設を進めているラオスへの援助にも協力し、地区的ラオス視察に会員が参加したり、クラブでもラオスを親善訪問した。

これからも、会員一人ひとりが楽しい例会を心掛け、会員はもちろん家族をも含めた親睦を図り、常にロータリー哲学を探求し自己研鑽を高め、より良いロータリアンとなるとともに、地域および国際社会のニーズに合わせた奉仕活動を進めていきたい。そして、楽しいクラブ活動をロータリー家族、地域社会にも広げていきたいと思う。



第29回東海RC旗争奪少年剣道大会 (2007年9月30日)



WCS活動ラオス親善訪問 (2007年11月24日)

東知多ロータリークラブ

創立	1969年6月7日	承認	1969年6月13日
チャーターナイト	1969年12月7日	チャーターメンバー	30名
スポンサークラブ	半田ロータリークラブ	分区	南尾張分区
会員数	24名 (2008年6月末日現在)	例会日時	木曜日 12時30分～
例会場	山田屋Bell 3階 〒475-0011 半田市稲穂町1-49-2		TEL: (0569)29-2126
事務局	〒475-0011 半田市稲穂町1-49-2		TEL: (0569)29-2156 FAX: (0569)29-4246
	URL: http://hcrc2760.org/		mail: hcrc@cac-net.ne.jp

■進化の10年

東知多ロータリークラブのこの10年で最大の出来事は、2003年4月に大府ロータリークラブを子クラブとして設立支援し、多くのメンバーを移籍させたことである。その結果66名のメンバーから33名となった。その後現在24名のメンバーにて運営している。

設立後においてはクラブの構成メンバーが少なくなり、クラブ運営の予算、組織構成メンバーの大変な重複など大きな試練を乗り越え、全員一緒にになって奉仕活動も行っている。

特に2006年5月20日に愛知県知多郡内の乾坤院(けんこんいん)で薪能のタベを企画し20数名のメンバーで実施した。当日は、境内に特設舞台が設けられ、日本を代表する喜多流能楽師、長

田驍(おさだ たけし)氏らの幽玄な舞に、多くの来場者は引き込まれていた。

この事業は、阿久比高校インタークトクラブのメンバー、国連地域開発センターで研修中の海外の研修生などを加え、地域の多くの方々の協力と参加をいただき大成功した。

さらに、当クラブが後援をする阿久比高校インタークトクラブも活発に活動している。特色として毎年同クラブが開催する英語スピーチコンテストは地区内の多くの高校生が活発に参加し英語スピーチの鍛錬の発表の場として盛況になっている。

今後とも少数のメンバーではあるが、ロータリーを通じ奉仕活動を楽しんでやっていこうと考えている。



薪能の会場風景 (2006年5月20日)



インタークトメンバー 海外研修生との能衣裳体験会場の風景

半田南ロータリークラブ

創立	1980年2月12日	承認	1980年2月25日
チャーターナイト	1980年6月14日	チャーターメンバー	31名
スポンサークラブ	半田ロータリークラブ	分区	南尾張分区
会員数	48名(2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分～
例会場	半田商工会議所3階 〒475-0874 半田市銀座本町1-1-1		
事務局	〒475-0874 半田市銀座本町1-1-1 半田商工会議所2階 TEL: (0569)21-0324 FAX: (0569)23-4546 URL: http://www15.ocn.ne.jp/~handasrc/ mail: handasrc@mist.ocn.ne.jp		

■進化の10年

共同隊名称：半田災害支援ボランティアコーディネーター（VC）の会

1998年 愛知県消防防災対策室・半田市・半田消防署の協力でVC養成研修会を開催。

1999～'01年 後援に半田市・中日新聞社、協力団体に愛知県・日本赤十字社・赤十字奉仕団・建築士会などのご協力で災害支援VC養成講座、フォローアップ講座開催。

2001年3月 半田南ロータリークラブより独立し、半田災害支援VCの会設立。

2004年6月 ロータリー地域社会共同隊（RCC）として国際ロータリーから認証状を受ける。RC認証は全国で29番目である。

現在、市内小中高等学校でLTに協力実施。簡易トイレ普及活動。半田市総合防災訓練に参加。VC養成講座（今まで受講者約700名）。

国際奉仕（WCS）委員会

2000年4月19～24日 半田南RC独自のWCS活動を行うため、タイ国バンコク・サウスRCが支援するシスター・リタを訪問。

2001年3月5日 バンコク・スリウォンRCチャーターナイト参加（以降WCSの窓口となる）。

2002年1月22～26日 アムナートチャルン県バンホワイトム学校訪問。学校からの要請を受け養鶏支援、放置自転車プロジェクト支援を行う。

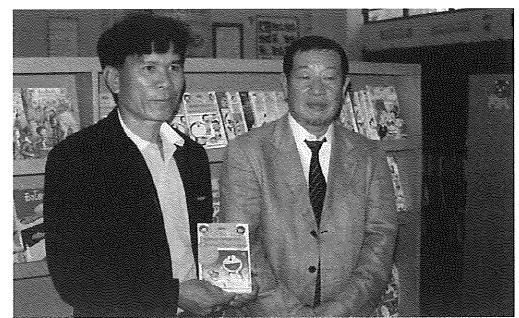
2004年2月17日 バンコク・スリウォンRCと友好クラブ関係締結。

2006年11月23～27日 バーンホワイトム学校訪問。養鶏プロジェクトは当時蔓延した鳥インフルエンザの影響で断念。2005年からナマズ養殖を開始。「給食支援プロジェクト」と呼称変更。

2007年11月22～26日 サアート校長へ学校図書支援。



災害支援ボランティアコーディネーター養成講座



WCS サアート小学校校長へ学校図書支援

知多ロータリークラブ

創立	1987年12月14日	承認	1988年1月8日
チャーターナイト	1988年3月6日	チャーターメンバー	23名
スポンサークラブ	常滑ロータリークラブ	分区	南尾張分区
会員数	24名(2008年6月末日現在)	例会日時	月曜日 12時30分～
例会場	じろきん本店 〒478-0051 知多市朝倉町299		
事務局	〒478-0017 知多市新知字下森11-1 知多市商工会館内 TEL: (0562) 32-0111 URL: http://www.chita-rc.csidne.jp		
	TEL: (0562) 55-0900 FAX: (0562) 55-9999 mail: chita_rc@ybb.ne.jp		

■進化の10年

1987年12月14日、23名のメンバーで発足した知多ロータリークラブは、本誌の「進化の10年」の初年にあたる1997年に10周年を迎えた。そして、11月には地区ガバナーはじめ、ロータリー関係者の皆様方、また地域の代表の方々にご出席をいただき記念例会を開催したところである。

この10年を振り返ったとき、我がクラブにとっては激動の10年であった。1997年、10年前には会員数45名を数えていたにもかかわらず、年々減少の一途をたどり、現在は会員数24名のクラブとなっている。

このような会員の減少についてはいろいろな理由があると思うのだが、社会の成熟とともにさまざまな形の奉仕活動が展開され、それらの中に私たちの活動が若干埋没していたことも理由の1つに挙げられるかもしれない。



定期演奏会の様子。毎年、知多市勤労文化会館で開催

しかし、そんな中にも我がクラブは知多市ジュニア吹奏楽、ジュニアコーラスの活動を長年にわたって支援し、ジュニア吹奏楽は今年で12回目の、そしてジュニアコーラスは6回目の定期演奏会を開催した。

また、2003年より毎年10月の知多市産業祭りの場を活用し「知多にどんぐりの森を造りましょう」との運動を展開し、これまでの5年間で約1,000人のご家庭でどんぐりの苗木を育ててもらっている。第1回目の植樹もすでに実施している。

これら地域に根ざした地道な活動は、やがて多くの人たちにクラブの存在と活動に対してのより一層の理解を深めていくことにつながっていくと信じている。

これからも地域に密着した「ロータリーならでは」の活動を展開し、「さらなる進化の10年」につなげていきたいと考える。



「どんぐりの森を造ろう」第1回植樹風景。参加者数40名

大府ロータリークラブ

創立	2003年4月10日	承認	2003年4月23日
チャーター ナイト	2003年6月29日	チャーター メンバー	28名
スポンサー クラブ	東知多ロータリークラブ	分区	南尾張分区
会員数	24名(2008年6月末現在)	例会日時	木曜日 19時00分~
例会場	大府商工会議所 〒474-8503 大府市中央町5-70		TEL: (0562)47-5000
事務局	〒474-8503 大府市中央町5-70 大府商工会議所2階 TEL: (0562)44-6210 FAX: (0562)44-6280 URL: http://www7a.biglobe.ne.jp/~obu-rc/index.html mail: obu-rc@kfd.biglobe.ne.jp		

■進化の10年

当クラブは2003年に2760地区80番目のクラブとして、東知多ロータリークラブをスポンサークラブに誕生し、今年度で5周年を迎えた若いクラブである。例会は地区内では珍しい夜間例会として午後7時より開催している。

主な奉仕活動としては、地域に根ざした活動として、大府市心身障害児者父母の会に協力をしてクリスマス会を開催している。この行事には会員全員が参加し会場設営から、サンタクロースに扮してのプレゼント配りまで積極的に協力し、多くの子どもたちから喜ばれている。

また東知多ロータリークラブと協力して、ロータリー旗争奪少年野球大会の後援もしており、この大会は毎年500名を越す少年たちの参加のもと大きなイベントとなっている。



大府市心身障害児者クリスマス会

このほかに、身体障害者団体との合同ボウリング大会の主催、大府市産業文化まつりへの参加など、社会奉仕委員会を中心に、地域に密着した活動を展開している。

また、WCS活動として、創立時よりフィリピンのヴァレンズエラRCに協力して、小学校への水の浄化装置の設置、飲料水の不足している地区での井戸の掘削など、ニーズに対応した活動を展開している。これらの事業を通じてヴァレンズエラRCとの交流も深まり当クラブの国際奉仕活動の中心的な事業に育ってきている。

今後も、地域はもとより、広く世界へ目を向け、1歩ずつロータリー活動を展開していく所存である。



WCS活動 ヴァレンズエラRCへの浄水装置寄贈

一宮ロータリークラブ

創立	1949年11月7日	承認	1949年12月31日
チャーターナイト	1950年4月12日	チャーター メンバー	22名
スポンサークラブ	名古屋ロータリークラブ	分区	西尾張分区
会員数	80名(2008年6月末日現在)	例会日時	木曜日 12時30分~
例会場	一宮商工会議所3階ホール 〒491-8686 一宮市栄4-2-1		TEL: (0586)72-4611
事務局	〒491-8686 一宮市栄4-2-1		TEL: (0586)24-1931 FAX: (0586)71-4390
	URL: http://www5.ocn.ne.jp/~rc138		mail: rc138@lily.ocn.ne.jp

■進化の10年

当クラブは、名古屋ロータリークラブを親クラブとして、戦後初めて誕生したクラブであり本年度で58年を迎える、歴史あるクラブである。その間、6つの子クラブ、5つの孫クラブほかを擁するに至った。会員数は、58年のロータリー歴を誇る田中鉄三郎君をはじめとする、名誉会員3名、会員80名で構成されている。

この10年間で、受け入れた米山奨学生は6名、青少年交換学生1名、送り出した国際親善奨学生は3名で、現在、あと1名をエントリー中である。

創立50周年を記念して、姉妹クラブ新竹扶輪社と共同で、台湾建華中学知的障害言語訓練設備設立プロジェクトとして、マッチンググラントを行った。また一宮の諸団体と共同して始めた、大江川

の清掃活動である「大江川クリーン作戦」はインター アクトの協力も得て、以来今日まで続いている。

昨年度企画した単独事業「三世代介護教室」は、高齢化の進展をタイムリーにとらえ、一般市民の参加者190名を受け、介護の具体的な方法を学ぶ好企画として、新聞、ケーブルテレビなどでも紹介され、ロータリーガバナー特別賞を受賞した。

また本年度は、地区協議会のホストとして、全会員一丸となって、その開催を支えた。

年2回の夜間例会、クリスマスおよび家族旅行、新年の真清田神社での一宮4RCによる合同例会などにて、会員、家族、他クラブとの親睦交流を図っている。



台湾新竹扶輪社会員と建華中学へ知的障害言語訓練設備目録贈呈式



三世代介護教室に参加する一般市民と中学生

津島ロータリークラブ

創立	1953年6月5日	承認	1953年6月22日
チャーター ナイト	1953年10月18日	チャーター メンバー	22名
スポンサー クラブ	一宮ロータリークラブ	分区	西尾張分区
会員数	75名(2008年6月末現在)	例会日時	金曜日 12時30分~
例会場	ツシマワール会館 〒496-0044 津島市立込町3-26-2		TEL: (0567) 26-1600
事務局	〒496-0044 津島市立込町3-26-2 URL: http://www5.ocn.ne.jp/~tsrotary		TEL: (0567) 26-1600 FAX: (0567) 26-1661 mail: t-rotary@sirius.ocn.ne.jp

■進化の10年

1998 - '99年度

- ・バルカン半島への人道的援助として1,000円ずつ寄付
- ・警察へ交通安全機器を贈呈
- ・天王川公園にて、530運動展開

1999 - '00年度

- ・市立図書館の改築に際し、文庫充実
- ・社協へ車椅子を贈呈

2000 - '01年度

- ・5月26日に530運動

2001 - '02年度

- ・ISO14001取得
- ・インタークトクラブ海外派遣
- ・5月25日に530運動

2002 - '03年度

- ・図書館・学校に環境をテーマにしたビデオを寄付
- ・50周年記念の文化講演会と記念例会を開催
- ・5月31日、530運動

2003 - '04年度

- ・全日本菊花連盟全国大会に協賛

・天王子ども塾を開催

- ・米山奨学生、2,000万円を達成

2004 - '05年度

- ・弁当例会にして、中越地震とスマトラ津波へ寄付
- ・万博ロータリー館へ資金を拠出
- ・夜間徘徊防止キャンペーン

2005 - '06年度

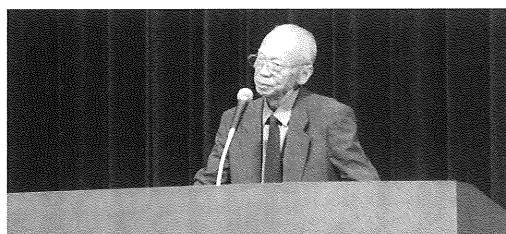
- ・市民病院へ出張例会し、実情認識
- ・台北滬尾RC来津
- ・財団奨学生が合格

2006 - '07年度

- ・能登半島地震への義援金
- ・AED講習会開催
- ・米山奨学生として、董宇さん受け入れ
- ・教育を考える講習会主催

2007 - '08年度

- ・新潟中越地震への義援金
- ・防犯協会へ安全蛍光ベスト贈呈
- ・55周年記念でゼロトレランスを支援



2002年10月、創立50周年に城山三郎氏の文化講演会開催



2005年5月と9月、万博ロータリー館で家族会を2回開催(豊島館長と)

尾西ロータリークラブ

創立	1955年11月18日	承認	1955年12月17日
チャーター ナイト	1956年10月28日	チャーター メンバー	27名
スポンサー クラブ	名古屋ロータリークラブ・一宮ロータリークラブ	分区	西尾張分区
会員数	26名(2008年6月末日現在)	例会日時	月曜日 12時30分~
例会場	尾西信用金庫本店6階 会議場 〒494-0002 一宮市篠屋1-4-3	TEL:	(0586)47-6300
事務局	〒494-0002 一宮市篠屋1-4-3 尾西信用金庫本店6階 TEL: (0586)47-6300 FAX: (0586)47-6101 mail: bisai-rc@owari.ne.jp		

■進化の10年

2001～'02年度

- ・ロータリー財団国際親善奨学生2名派遣

2003～'04年度

- ・地区大会開催ホストクラブを務める
- ・青少年交換プログラム留学生1名受け入れ
- ・青少年交換プログラム留学生2名派遣

2004～'05年度

- ・青少年交換プログラム留学生1名受け入れ
- ・米山奨学生1名受け入れ
- ・尾西ロータリークラブ50周年記念式典開催、姉妹クラブ水里RCより30名参加
- ・50周年記念事業として、旧尾西市役所(現一宮尾西庁舎)前に市制50周年記念碑寄贈

2005～'06年度

- ・西尾張分区ガバナー補佐山内登君就任
- ・IM開催ホストクラブを務める

2006～'07年度

- ・姉妹クラブ台湾・水里RC創立30周年および尾西RC友好28周年記念式典参加
- ・台湾・水里RC訪問

水里RCとは1年ごとに相互クラブ訪問継続中



歴史と伝統の証 クラブ創立50周年記念式典



会員全員が一丸となり力を合わせ開催した地区大会ホストクラブ



一宮市との合併が決まり「尾西市50年の歩み」の記念碑を寄贈

一宮北ロータリークラブ

創立	1963年3月15日	承認	1963年6月30日
チャーター ナイト	1964年3月14日	チャーター メンバー	30名
スポンサー クラブ	一宮ロータリークラブ	分区	西尾張分区
会員数	47名(2008年6月末日現在)	例会日時	金曜日 12時30分~
例会場	一宮商工会議所3階 〒491-8686 一宮市栄4-2-1		TEL: (0586) 24-1961
事務局	〒491-8686 一宮市栄4-2-1 一宮商工会議所2階 TEL: (0586) 24-1961 FAX: (0586) 71-4390 mail: rcl38n@minos.ocn.ne.jp		

■進化の10年

地域やクラブの特色

一宮市は、名古屋市と岐阜市のほぼ中間に位置し、2005年4月1日、旧一宮市・尾西市・木曽川町が合併して人口約37万の都市として誕生した。

市域には東西の大動脈である東名・名神および日本海側と太平洋側を結ぶ東海北陸道の高速道路が走り、インターチェンジ4カ所、ジャンクション1カ所がある。

まさに交通の要衝であり、産業的には、繊維の町として栄えた伝統と物流拠点としての利点を生かした産業の発展が期待されている。

当クラブは、旧一宮市において全国で最初に創立された一宮ロータリークラブを親クラブとし、1963年に誕生した。2008年に創立45周年を迎えた伝統あるクラブである。会員の職域は、多岐にわたっているが、会員の自主的運営による各種親睦会活動が盛んである。

奉仕の歩み

1997年と1999年に社会福祉法人の照光愛育園園児とのクリスマス交流を実施、1998年7月に地区第9回IAC協議会開催、1999年11月よりグラウンドワーク一宮主催の「大江川クリーン作戦」に毎年参加、2001年11月に地区研究グループ交換事業においてGSEチーム5名受け入れ、2002年3月にホストとして西尾張分区IM開催、2004年3月に奥町公園での植樹、2005年12月に老人保健

施設「あうん」にて「おじま幼稚園」園児とともに入所者慰問、2006年12月に一宮市せんい緑地公園内の清水九兵衛作の美術彫刻「緋甲」の修復作業実施、2007年3月に一宮市で使用済みになった救急車をスリランカに寄贈、2008年3月に当クラブ45周年事業としてAED（自動体外式除細動器）2基を一宮市に寄贈した。

特筆すべき活動

対外的には当クラブのチャーターメンバーでもある豊島徳三会員が愛・地球博会場に建設されたロータリー館（友愛の家）館長に就任され、180日以上におよぶ万博開催期間はもちろん、その後を通じて国際交流と全国のロータリークラブの交流に尽力された。この功績は地区および国際ロータリーから高く評価された。

地域の奉仕活動の面では、美術品の修復事業は美術同好会での充実した活動が基盤となっている。また、AEDの寄贈については、当クラブに医師を職業とする会員が多いため、救命という観点から「今、地域に何が求められているか」を的確に選択して実施された。当クラブの特色がよく反映された奉仕事業が展開されている。

会員相互の親睦については、特色的ある美術鑑賞会やグルメ会が企画され、会員の家族も多数参加して好評で、充実した活動が持続している。

稻沢ロータリークラブ

創立	1963年7月11日	承認	1963年12月6日
チャーター ナイト	1964年3月14日	チャーター メンバー	27名
スポンサー クラブ	一宮ロータリークラブ	分区	西尾張分区
会員数	55名 (2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分～
例会場	尾張大國靈神社 〒492-8137 稲沢市国府宮1-1-1	TEL:	(0587)23-2121
事務局	〒492-8213 稲沢市高御堂1-2-1 林商事ビル1階	TEL:	(0587)24-0740 FAX: (0587)22-7213
	URL: http://www.inazawa-rc.org	mail:	info@inazawa-rc.org

■進化の10年

1999年4月14日 韓国蔚山江南RC姉妹提携
調印式

1999年11月12日 蔚山江南RCへ答礼訪問

2000年11月1日 カウラRC姉妹提携25周年
記念例会

2000年11月24日 蔚山江南歓迎夜間例会

2001年4月20日 蔚山江南RC訪問

2002年3月30日 名鉄犬山ホテルにて夜桜鑑賞
会とチャリティーオークション
(NPO法人タンポポハウスへ
寄付)

2002年4月
6月 蔚山江南RC創立5周年記念
式典出席

2003年7月12日 稲沢RC創立40周年記念式典

2004年2月21日 西尾張分区「新会員のつどい」
をホスト

2004年3月13日 稲沢RC 2,000回記念例会

2004年10月7日 韓国蔚山江南RCへ愛知万博
招聘訪問

2005年6月8日 愛知万博ロータリー館蔚山江
南RC・稻沢RC合同家族夜
間例会

2005年6月19日 国際ロータリー100周年記念
シカゴ大会へ5名出席

2006年1月24日 尾張大國靈神社にAED寄贈

2006年5月13日 稲沢RC 2,100回記念例会

2006年5月 身障者美術展および螢を守る
会プレゼントーション

2006年6月19日 韓国蔚山江南RC 10周年記
念式典出席

2007年9月15～17日 韓国済州島にて蔚山江
南RC合同家族会とWCS活
動

2008年5月14日 折り鶴3,000羽を尾西病院へ
寄贈



韓国蔚山江南RC調印式姉妹提携 (1999年4月14日)



40周年記念式典 (2003年7月12日)

あまロータリークラブ

創立	1969年6月16日	承認	1969年6月23日
チャーター ナイト	1970年3月19日	チャーター メンバー	25名
スポンサー クラブ	津島ロータリークラブ	分区	西尾張分区
会員数	90名 (2008年6月末日現在)	例会日時	月曜日 12時30分～
例会場	名鉄グランドホテル 〒450-0002 名古屋市中村区名駅1-2-4		
事務局	〒453-0015 名古屋市中村区椿町17-16 丸元ビル5階 TEL: (052)451-6617 FAX: (052)451-6710 mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp		

■進化の 10 年

あまロータリークラブのこの 10 年は、創立 30 周年から始まる。大竹和美実行委員長のもとに周到な準備を行い盛大な祝賀会を開催する。記念講演には畠正憲氏を迎え、「ムツゴロウおおいに語る」をテーマとして青少年問題について考える。社会事業としては、年度ごとに地域の福祉施設に対して適切な品物を寄贈して喜ばれている。また、ロータリー 100 周年の年度においては、七宝、美和、蟹江の 3 町に記念植樹を行っている。特に継続事業としては、大江川、蟹江川の清掃にも参加している。

国際奉仕としては、青少年交換学生の派遣、受け入れを活発に行い、この数年間の間に派遣 3 名、受け入れ 4 名の実績を上げている。

姉妹クラブとして、香港・九龍北 RC と台湾・汐止扶輪社の 2 クラブとの交流も、相互に訪問し、

楽しく続けている。

2003 年～'04 年度に、35 周年記念事業を光岡朗実行委員長のもとに、名古屋能楽堂で狂言師野村万作氏を迎えて「佐渡狐」を鑑賞するなど盛大に行った。

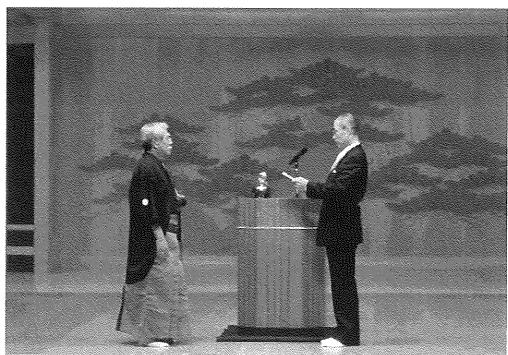
2005 年～'06 年度においては、地区 WCS 活動に参加し、ラオスのハットファイ小学校建設に貢献する。

当クラブでは、会員数も 100 名前後で推移しているので、クラブ奉仕においても活発である。趣味の会も多く、最近ではコーラス、詩吟、野球などもでき、大いに楽しんでいる。

2007 年～'08 年、鈴木孝則ガバナー補佐の発案で、名駅ミッドランドホールで 3 名のがバナーによるパネルディスカッションをお願いし、「ロータリーの価値」を学んだ。



第12回クリーンコミュニケーション in 大江 & 蟹江川の清掃活動に13名参加



創立35周年式典 能楽堂にてロータリー財団米山記念奨学会へ寄付目録を贈呈

名古屋清須ロータリークラブ (2006年度より西春日井RCから名称変更)

創立	1975年10月14日	承認	1975年11月3日
チャーターナイト	1976年4月11日	チャーターメンバー	9名
スポンサークラブ	稲沢ロータリークラブ	分区	西尾張分区
会員数	38名 (2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分～
例会場	名古屋マリオットアソシアホテル17階 ルピナス 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4	TEL:	(052)584-1111
事務局	〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4	名古屋マリオットアソシアホテル2225号室 TEL: (052)533-8521 FAX: (052)533-8545	
	URL: http://www.nagoyakiyosu-rc.jp	mail:	info@nagoyakiyosu-rc.jp

■進化の10年

過去10年のクラブ活動を中心にご紹介する。
10年前、24代目の会長は「四つのテストを実践しよう」と目標を掲げ、奉仕活動を展開した。

＜クラブ奉仕＞ 会員・その家族相互の親睦が主な目的で、年2回、IDMとクリスマス家族会、3クラブ合同新年会などを10年間継続行事としている。
＜職業奉仕活動＞ 会員の職場例会と会員に病院経営者がおられ、年1回健康診断を実施している。
＜社会奉仕活動＞ 心身障害者通所作業所などへの助成金、西枇杷島警察署へ日章旗を贈呈、29代目の星野会長のときにはゴミゼロ運動・五条川の清掃を実施している。

＜国際奉仕＞ 25代目の梅田会長のときにトルコ地震、台湾地震災害に寄付を行った。

＜新世代活動＞ 26代目保浦会長が「五条川と錦

鯉・環境保全と新世代の育成」をテーマに、地元の子どもたちと錦鯉の放流をして楽しんだ。2000年9月11日、東海豪雨で新川堤防が決壊し、会員の60%が被災した。この年は創立25周年で福田ガバナー、藤井ガバナー補佐はじめ、永和RCをお迎えして盛大に式典が挙行され、災害のあった4町へ災害救難ボート一式を寄贈。2005年9月16日の創立30周年は鳥居会長で、万博の見学も重なり式典では高橋ガバナー、加藤清須市長と4町行政の方々、西枇杷島警察小野田署長、阿波池田・永和RC会長をお迎えし、名古屋マリオットホテルで盛大に挙行された。3町の合併でクラブ名変更を協議していたが2007年には西春日井ロータリークラブを名古屋清須ロータリークラブと名称変更し、新しくスタートした。



五条川ゴミ清掃とますのつかみ取り



永和ロータリークラブとの調印式

尾張中央ロータリークラブ

創立	1983年12月22日	承認	1984年1月30日
チャーター ナイト	1984年5月6日	チャーター メンバー	10名
スポンサー クラブ	西春日井ロータリークラブ(現 名古屋清須)	分区	西尾張分区
会員数	42名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分~
例会場	名鉄グランドホテル 〒450-0002 名古屋市中村区名駅1-2-4		TEL: (052)582-2211
事務局	〒481-0038 北名古屋市徳重土部56 アートスペースヒラノ2A TEL: (0568)25-4701 FAX: (0568)25-4702 URL: http://www9.ocn.ne.jp/~owari-rc/		mail: kita2a-owarichuo-rc@rhythm.ocn.ne.jp

■進化の10年

私たち尾張中央ロータリークラブは、名鉄犬山線の西春駅を真ん中に西春町・師勝町が1つになり、新しく誕生した北名古屋市をテリトリーとしている。名古屋市経済圏の産業の町として、またベッドタウンとして発展する町を市民とともに人に優しい、環境に優しい社会を築くため、地域に根差した奉仕活動ができればと考える。

クラブが発足してまもなく、ボーイスカウトの協力を得て530運動を始め、今日では市民と各種団体を交えての運動に発展した。また、2003年セルプ師勝・ひまわり作業所合同野外研修、2004年知的障害者ボウリング大会、2005年身体障害者(児)万博研修会は、家族、施設職員とともに汗をかき、参加者の楽しい喜びと感動を肌で感じ取

ることができた。これからもこうした活動ができるばと思っている。



在宅身体障害者(児)愛知万博見学・研修



知的障害者野外研修(白川郷・牧歌の里)



530運動の様子

一宮中央ロータリークラブ

創立	1990年10月31日	承認	1990年11月16日
チャーター ナイト	1991年5月19日	チャーター メンバー	61名
スポンサー クラブ	一宮北ロータリークラブ	分区	西尾張分区
会員数	53名 (2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 18時～
例会場	一宮商工会議所3階ホール 〒491-8686 一宮市栄4-2-1		
事務局	〒491-8686 一宮市栄4-2-1 一宮商工会議所内 TEL: (0586)24-1959 FAX: (0586)71-4390 mail: icrc@alpha.ocn.ne.jp		

■進化の10年

「クラブ独自の奉仕活動のあゆみ」

我が一宮中央ロータリークラブは今年17年目を迎えた。歳月の流れは早いもので1990年10月31日の創立総会で、会員61名をもってクラブが設立され、同年11月16日には国際ロータリーに加盟が承認された。しかし、ここまで来るまでには、スポンサークラブの皆様をはじめ各クラブのご支援、お力添えをいただき、これまで成長してきた。

さて、この10年間の奉仕活動のあゆみとして、我々クラブ独自の奉仕活動について2つほどご紹介する。

まず、社会奉仕委員会の活動の一環として、クラブ設立以来10数年にわたり、地域社会の環境保全および緑化強化として一宮市内の公園に「植

樹事業」をテーマに展開してきた。現在、10年前に植樹した木が立派に成長している。

また、1998年7月9日に、社会奉仕委員会の事業として、一宮警察署より会員夫人全員に「交通安全家庭管理者」として委嘱を受けた。同年12月8日には、「多発する交通事故にブレーキをかけよう」を合言葉に、年末の交通安全運動期間中に、交通事故の無い、明るい家庭、社会を目指す運動の一環として一宮警察署の協力を得て、「交通安全家庭管理者」および会員で、真清田神社前の交差点で街頭交通安全キャンペーンを実施し、「交通安全は家庭から」の輪を広げ、交通事故の無い「セーフティーマイタウン一宮」を目指した。



植樹 一宮市に寄贈 (2003年 猿海道公園にて)



交通安全のビラとデンデン太鼓配布 (1998年 真清田神社前にて)

瀬戸ロータリークラブ

創立	1959年8月26日	承認	1959年9月11日
チャーター ナイト	1959年5月15日	チャーター メンバー	22名
スポンサー クラブ	名古屋ロータリークラブ	分区	東尾張分区
会員数	79名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分~
例会場	瀬戸商工会議所 〒489-0808 瀬戸市見付町38-2		
事務局	〒489-0808 瀬戸市見付町38-2 TEL: (0561)84-1160 FAX: (0561)84-0116 URL: http://seto.rotary.ne.jp/ mail: seto@rotary.ne.jp		

■進化の10年

瀬戸ロータリークラブは、社会奉仕事業として、地域にタイムリーなものを単独または瀬戸北ロータリークラブと合同で贈呈してきた。

1998～'99年度は国際博用カウントボード、2000～'01年度は環境美化啓発看板、2001～'02年度は太陽光発電街路灯、2002～'03年度は電子ディスプレー、2003～'04年度は万博ウェルカムタワー、2004～'05年度は大型プラズマディスプレー、2005～'06年度は剪定板破碎機、2006～'07年度はAEDトレーニングシステムを贈呈した。

本年度は、FM局の電波を利用する「緊急放送システム一式」を瀬戸市に贈呈した。この放送システムは、広報車を使った情報伝達と比べ迅速に広範囲(瀬戸、尾張旭、長久手の2市1町全域)に正確な情報が伝達でき災害発生時だけでなく、災害が予測される台風時などの防災情報の伝達に

も威力を發揮する。

瀬戸市は2008年4月14日よりこの設備を活用し「只今!せとラジオ」と題して毎日、防災関係や市の情報を生放送している。

また、本年度、広報事業としてロータリークラブの素晴らしい活動を地域社会にPRするため地元FM局によるPR放送を行った。2007年8月25日の江崎ガバナーと寺田会長との対談からスタートし、2008年6月25日まで毎月第2、4の水曜日午後2時より20分間放送した。第2週は会長、第4週は瀬戸ロータリークラブのパスト会長や、2760地区委員長などに出演していただき、ロータリークラブの活動などの話をしていただいた。

次年度もFM局を使ったPR放送を続ける予定である。



緊急放送システムの目録を増岡錦也市長に手渡す瀬戸RC寺田会長



江崎柳節ガバナーと対談する瀬戸RC寺田会長

犬山ロータリークラブ

創立	1961年8月8日	承認	1961年11月6日
チャーター ナイト	1962年6月3日	チャーター メンバー	28名
スポンサー クラブ	一宮ロータリークラブ	分区	東尾張分区
会員数	76名(2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分～
例会場	名鉄犬山ホテル 〒484-0082 犬山市犬山北古券107-1		TEL: (0568)61-2211
事務局	〒484-0081 犬山市大字犬山字西畠22-5		TEL: (0568)61-5219 FAX: (0568)61-5523
	URL: http://www.inuyama-rc.org/		mail: info@inuyama-rc.org

■進化の10年

我が犬山ロータリークラブは本年創立46年目を迎えるが、創立以来、犬山市、扶桑町を主に地域社会における信頼に応えるべく奉仕と友愛の精神を持って活動してきた。国際社会への奉仕活動にも積極的に取り組み1975年以来33年間台湾草屯RCと姉妹提携を続けており、青少年海外交流活動、ホームステイでの触れ合い、タイムカプセルの設置、記念植樹など深い友情関係にある。またオーストラリアのアシュモアRCと1991年より友好提携をしており、昨年はロシアのウラジオストックRCへ友好訪問を行った。

一方地元の国際交流にも取り組み、2002年の創立40周年より母の日に母国の味で故郷に思いをはせてもらおうとkoribo(古里母)フェスティバルを開催している。これは、地元在住の外国人と

市民が自国の自慢料理を作り会食する交流会である。また、未来のある新世代の子どもたちの健全育成にも力を入れており、地元ボーイスカウト、ガールスカウトの台湾草屯RCを介しての台湾童子軍との相互訪問と国際交流は本年で23回を迎えることができた。特に本年は41名の童子軍が来犬し最も多い人数の受け入れ交流をした。

また本年は社会と青少年問題を絡め、本当に必要な青少年のために「いじめ自殺から子どもを守る」フォーラムを開催し教育現場に大きな波紋を投げ掛けた。一方、木曽川を中心に環境豊かな地域であり、より良い環境を子どもたちに残していく取り組みもしてきた。いま犬山RCは会員相互の深い友情のもと、古き伝統である100%例会出席率を維持しつつ活動している。



ボーイスカウト・ガールスカウトと台湾草屯童子軍の国際交流事業



「いじめ自殺から子どもを守る」フォーラム風景

江南ロータリークラブ

創立	1965年5月22日	承認	1965年6月25日
チャーター ナイト	1965年11月21日	チャーター メンバー	27名
スポンサー クラブ	一宮ロータリークラブ	分区	東尾張分区
会員数	54名(2008年6月末日現在)	例会日時	木曜日 12時30分~
例会場	江南商工会館1階大ホール 〒483-8205 江南市古知野町小金112		TEL: (0587)54-8132
事務局	〒483-8205 江南市古知野町小金112 URL: http://www.kounan-rc.com	TEL: (0587)55-6554 FAX: (0587)59-7720 mail: kounanrc@beach.ocn.ne.jp	

■進化の10年

地域やクラブの特色

江南ロータリークラブの区域は江南市と大口町である。愛知県の北西部、木曽川の清流にはぐくまれた濃尾平野の北部に位置する。産業は古くから織物産業の町として発展し“インテリア織物の街江南”として知名度も高まってきている。

1965年5月22日、27名のチャーターメンバーで一宮ロータリークラブから誕生、現在会員数は54名、平均年齢は64歳である。

年中行事としては、木曽川河川敷の清掃、交通安全運動・防犯協力、江南市・大口町身障者スポーツ大会への協力など多方面にわたっている。

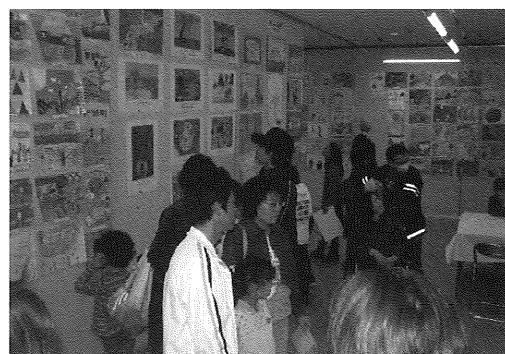
35周年記念事業として“身障者と共に曼陀羅寺境内の清掃と昼食会”を開催し、110名の参加者を得て行われる。40周年記念事業として、江南市・大口町7カ所の施設に記念植樹を行う。また「非

健常者への思いやり」を実践するべく“思いやり基金”を創設し、同記念事業のチャリティーコンサート協賛金を含む、基金総額330万円を22施設に贈呈。

本年度43年度は、R財団地区補助金を得て、3月に“こども国際環境絵画展”を開催。江南市、大口町、姉妹クラブである台湾潮州RCの地元潮州国の各小学4年生の絵画1,240点あまりを江南市民文化会館で展示し、環境保全に対する啓発、意識の高揚を図る。また、地区大会のホストクラブを務め、江崎ガバナーご指導のもと、2007年11月17日犬山ホテル、18日パークアリーナ小牧にて開催し、3,000名以上のご参加をいただき、皆様のご協力で成功裏に収める。新潟県中越沖地震、ミャンマーサイクロン、中国四川省の大地震へ義援金を送る。



創立40周年記念事業（思いやり基金贈呈）



こども国際環境絵画展 展示会場

小牧ロータリークラブ

創立	1968年1月24日	承認	1968年2月1日
チャーターナイト	1968年6月9日	チャーターメンバー	35名
スポンサークラブ	犬山ロータリークラブ・名古屋守山ロータリークラブ	分区	東尾張分区
会員数	41名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分～
例会場	小牧コミュニティーホール 〒485-0029 小牧市中央1-260 名鉄小牧駅ビル3階		
事務局	〒485-0041 小牧市小牧5-253 小牧市商工会議所5階 TEL: (0568)72-7770 FAX: (0568)75-1870 URL: http://www.komaki-rc.jp mail: info@komaki-rc.jp		

■進化の10年

本年度小牧ロータリークラブは、創立40周年という節目の年を迎えた。そのため会員は、創立記念事業や行事などを通し、例年以上にクラブのあゆみを振り返る機会が得られた。

小牧ロータリークラブは、伝統的に新世代委員会事業に力を注いでいる。現在は諸般の事情により休止しているが、ロータクトクラブの創立を1987年に成し遂げ、さらにインタークトクラブを1998年に提唱・創立し、現在も有意義な活動を展開している。新世代に関わる両クラブを提唱し創立できたことは、RI第2760地区内のクラブでも例が少ないとあり、諸先輩が小牧ロータリークラブの方針にのっとったもので、誇りとするところである。さらに、30年間にわたり継続している青少年交換事業も特筆すべきことである。



小牧ロータリークラブが提唱した、尾関学園IACの学生たち

また、小牧ロータリークラブ創立35周年記念事業として小中学生を対象に開催した、中部フィルハーモニー交響楽団（旧小牧市交響楽団）と子どもたちによるソロ共演『ジュニアソロコンサート2003』は、多くの反響をいただくことができた。その後、事業は小牧市に引き継がれ継続されている。また本事業は、RI2002～'03年度の「意義ある業績賞」を受賞しており、特筆すべきであると思う。

最後に、本年度は当クラブの江崎柳節君をRI2760地区ガバナーとして輩出できた。ガバナーを支え、見事にその任務が遂行できたことは、各メンバーの自信となり、今後のロータリー活動に対する励みと財産になったものと確信する。



40周年記念式典で演奏した、35周年記念事業のソリストたち

春日井ロータリークラブ

創立	1969年4月28日	承認	1969年5月1日
チャーター ナイト	1969年11月3日	チャーター メンバー	34名
スポンサー クラブ	小牧ロータリークラブ	分区	東尾張分区
会員数	63名(2008年6月末現在)	例会日時	金曜日 12時30分~
例会場	ホテルプラザ勝川 〒486-0931 春日井市松新町1-3327		TEL: (0568)36-2420
事務局	〒486-0844 春日井市鳥居松町5-45 URL: http://www.kasugai-rc.jp		TEL: (0568)81-8498 FAX: (0568)82-0265 mail: ksgci-rc@gaea.ocn.ne.jp

■進化の10年

春日井ロータリークラブでは、地域貢献活動として、春日井市からの要請に基づき、ふん害防止活動に参加し、市内の公園などのふんの清掃とポイ捨てゴミの清掃を継続的に実施している。

また、社会への貢献に対する感謝の意を表すため、春日井警察署の署長と職員代表、春日井消防署の署長と職員代表、航空自衛隊小牧基地の司令と隊員代表に対して感謝状と記念品贈呈を継続的に実施している。

その他、ガールスカウト活動への支援として春日井市内3団体に対し助成金の贈呈を継続的に実施している。

ロータリー哲学の原点である職業奉仕の理念を再認識し、会員の職業奉仕の実践を推進し、喚起することを目的に「4 RC合同職業フォーラム」を

ほかの3 RCの協力を得て開催した。

- ・メインテーマ:「職業奉仕の理念を学ぶ」&「ロータリー哲学再発見」
- ・参加クラブ: 小牧RC、春日井RC、名古屋空港RC、豊山・城北(現名古屋城北)RC
- ・日時／開催場所: 平成18年10月14日(土)／ホテルプラザ勝川

斎藤ガバナーからの祝辞文を頂戴した後、場々大刀雄実行委員長の「自利と他利の調和こそがロータリーの精神的骨格である」という基調講演と、職業奉仕～私の事例～として自身の職業を通した実体験の発表があり、参加者全員が真剣に耳を傾け、発言し、その後のロータリアンとしての活動基軸の確立に大いに役立つフォーラムであった。



職場例会: 航空自衛隊小牧基地イラク復興支援で活躍の輸送機見学



ガールスカウト団体への助成金の贈呈(25年以上継続)(2008年3月14日)

尾張旭ロータリークラブ

創立	1971年1月22日	承認	1971年2月11日
チャーター ナイト	1971年6月20日	チャーター メンバー	24名
スポンサー クラブ	瀬戸ロータリークラブ	分区	東尾張分区
会員数	29名(2008年6月末日現在)	例会日時	金曜日 12時30分～
例会場	尾張旭市商工会館2階 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3	TEL:	(0561)53-7111
事務局	〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3 尾張旭市商工会館内3階 TEL: (0561)54-1263 FAX: (0561)54-8945	URL:	http://www5b.biglobe.ne.jp/~owariasasa/ mail: owariasahi@biglobe.ne.jp

■進化の10年

当クラブは、今年度創立37周年を迎え、6年前から「ヤングミュージックフェスタ in 尾張旭」を開催している。目的は、地域青少年に音楽を通じての情操教育の向上と健全育成である。市教育委員会の共催、市PTA、市子ども会連絡協議会、市青少年健全育成推進会議の後援を得て市文化会館にて演奏会を実施している。出演は尾張旭児童合唱団、市内小学校2校、中学校3校、県立高校1校、総勢約340名で日ごろ練習した成果を発表し、チームワークを保つために気と心を合わせて協調性を育む絶好の機会を与えていた。そして、学校の新学期と同時に計画立案、市教委、学校との打ち合わせなど、全クラブ員が社会奉仕の理念にのっとり、参画している。

次に16年間にわたり市民に苗木配布を実施して



第7回「ヤングミュージックフェスタ in 尾張旭」出演校の演奏

いる。その目的は、失われつつある緑をどのように回復していくかを市民と一緒に考え、苗木を配布することによって、緑の大切さ、ひいては環境問題に真剣に取り組む市民意識の高揚を促すためである。毎年、市では10月に尾張旭まつり実行委員会主催の市民祭が本市の城山公園一帯にて実施され、当日「ドウダンツツジ」の幼苗約700本を会員全員で袋詰めをして、育て方の資料を添え、開会式セレモニー後、参加市民に配布している。

また、運動面においても毎年実施されている市子どもスポーツ大会・サッカー大会にも参画しており、今後もこの3大行事を中心として社会奉仕を進め、会員一同微力ながら誠心誠意活動および応援していくつもりである。



市民祭会場における、苗木配布風景

名古屋空港ロータリークラブ

創立	1974年7月29日	承認	1974年8月31日
チャーター ナイト	1974年11月3日	チャーター メンバー	37名
スポンサー クラブ	春日井ロータリークラブ	分区	東尾張分区
会員数	57名(2008年6月末現在)	例会日時	月曜日 12時30分~
例会場	キャッスルプラザ 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-25		TEL: (052)582-2121
事務局	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-10 東海ビル606号室 TEL: (052)561-2405 FAX: (052)571-2867		
	URL: http://www.geocities.jp/nagoya_airport_rc/		mail: rongoapt@mta.biglobe.ne.jp

■進化の10年

地域やクラブの特色

当クラブは、その名の示す通り名古屋空港を中心とした西春日井郡豊山町周辺をテリトリーとして誕生した。その後、名古屋空港は2005年2月に、愛知県常滑市に移設されて中部国際空港(セントレア)となり、その後は県営名古屋空港(小牧空港)として国内便の空港として存続している。こうしたグローバル化の現象は、当クラブの会員についても同様で、空港周辺の地域にとどまらず名古屋市からの入会者が増えつつある。それでも、当クラブの活動の中心は依然として名古屋空港周辺を中心に、現在は特に空港移転後の経済などの活性化に寄与貢献すべく奉仕活動を継続している。

活動のあゆみ

当クラブのこれまでのあゆみの中で特記すべき事業は、毎年9月の航空記念日(1992年から「空の日」と改称)に併せて、1978年に愛知県民

生部と協力して心身障害児の招待体験飛行を実施し、以来2005年まで新世代委員会と社会奉仕委員会の合同事業としてこの事業を継続してきたことである。そして、2006年からは新たな奉仕事業を検討実施し、2007年度は、地元(県営名古屋空港周辺地域)の子どもたちや心身障害児らを対象としてレンガアートの体験により物づくりの楽しさや大切さ、さらには焼き物の伝統文化についても学んでもらい、この成果物を豊山町役場に寄贈することで郷土への愛着と奉仕の精神を育成し、さらには地域活性化の一助となる事業を実施した。また、2005年からは地元小学生の安全対策として防犯ブザーを寄贈することとし、その後は毎年新生入に防犯ブザーを配布している。

他方、2004年には当クラブ創立30周年を迎え、名古屋市の能楽堂で創立記念事業として国内外の姉妹クラブとの交流を実施した。



創立30周年記念式典(名古屋能楽堂にて)



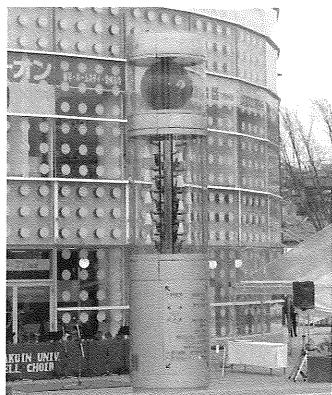
青少年のためのレンガアート体験

瀬戸北ロータリークラブ

創立	1978年10月31日	承認	1978年12月7日
チャーター ナイト	1979年5月20日	チャーター メンバー	28名
スポンサー クラブ	瀬戸ロータリークラブ	分区	東尾張分区
会員数	74名 (2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分～
例会場	瀬戸商工会議所 〒489-8511 瀬戸市見付町38-2		
事務局	〒489-8511 瀬戸市見付町38-2 瀬戸商工会議所内3階 TEL: (0561)84-1170 FAX: (0561)84-1219 URL: http://www16.ocn.ne.jp/~seton.rc/ mail: seton.rc@wine.ocn.ne.jp		

■進化の 10 年

瀬戸北RCの10年は万博成功を目指した、地域の発展のための10年であったといえる。1998～'99年度、瀬戸市役所正面玄関にカウントダウンボーダを瀬戸RCと共同で寄贈した。万博開催の成功と順調な準備、市民の開催意識高揚を願った。ボーダ上部にソーラーシステムが付いて太陽エネルギーで稼動し、衛星からの電波を受信して時刻誤差を調整、正確な時を刻む。また10年前、1998～'99年度はちょうど瀬戸北RC創立20周年にあたり、20周年記念事業として2005年に開催された日本国際博覧会に寄与するため、「瀬戸北ロータリークラブ国際博覧会協力基金」の創設を宣言した。これは、万博開催時までに総額1,000万円を積み立てる。基金は会員の寄付で、20周年に300万円、以降は年100万円を目標に積み増しする。



陶鈴音（トレオン）寄贈

当初万博会場に記念モニュメントの建設をイメージしていたが、2004～'05年度瀬戸RCとの合同事業、瀬戸市のランドマークとして建設された尾張瀬戸駅前ビル「パルティセと」南東敷地に時計塔「陶鈴音（トレオン）」を寄贈し、瀬戸の街の発展と、愛知万博の成功を願った。またこの年度に2005国際博ウェルカムタワー周辺の緑化事業として、瀬戸RCとの合同事業を行った。万博来場者を温かく迎えようと、万博瀬戸会場近くの市有地に高さ約7メートルのタワーを建設、寄贈した。このタワーの土台部分に地元陶芸家、瀬戸RC、瀬戸北RC会員の焼いた陶板を組み込んだタワーのほか、周辺に植樹し、市民ガーデン広場を設けた。ほかにも「ゴミ0フェアーセと'98」「万博と交通安全PR」などの社会奉仕活動を行った。



ウェルカムタワー贈呈式

岩倉ロータリークラブ

創立	1979年4月18日	承認	1979年5月18日
チャーター ナイト	1979年11月17日	チャーター メンバー	31名
スポンサー クラブ	江南ロータリークラブ	分区	東尾張分区
会員数	19名(2008年6月末現在)	例会日時	火曜日 12時30分~
例会場	岩倉商工会館3階 〒482-0042 岩倉市中本町西出口31-1		
事務局	〒482-0022 岩倉市栄町2-77 ロータリーヒーロー4階 404号 TEL: (0587)37-5152 FAX: (0587)37-5147 mail: iwkr-rc@abelia.ocn.ne.jp		

■進化の10年

1998～'99年度は、当クラブ創立20周年の年であり、その後10年間を顧みると、急激な会員の減少に加え入会者を迎えて、退会者が出てしまうという状況が度重なり、現在は、地区内最少人數のクラブとなっている。

当クラブでは、ロータリアンとして職業奉仕の理念を理解することに努め、職業を通じて地域に密着した奉仕活動を実践するという目標を掲げ、地域とのつながりも深く「いわくらふれ愛まつり」への参加をはじめ、「クリーンチェックいわくら」「アダプトプログラム」などの環境保全に関する事業にも積極的に参加している。特に、桜の名所百選に選ばれた五条川の桜並木の維持活動の一環として、2カ月に一度程度の河畔堤防道路の清掃作業や植栽整備などの活動を行っている。

また、交通安全推進事業への協力とともに地域

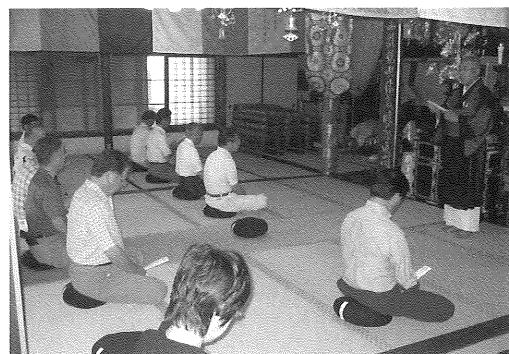
のボランティア団体への協賛事業関連として、「うどん例会」「そば例会」を実施している。これも、限られた予算の中で、少人数クラブの特徴である機動性を生かした事業の1つである。

会員に対しては、あらゆるロータリー会合への出席を奨励するとともに、早朝坐禅例会を開催し、自己研鑽を推し進めている。また、少ないながらも若い会員や当クラブ初となる女性会員を迎えることによって、活性化が図られている。さらに、2007～'08年度には、初めて東尾張分区内の少人数クラブとの合同例会が開催され、横のつながりが結ばれ会員個々の交流親睦が図られた。

2008～'09年度は、いよいよ創立30周年を迎える主体的な奉仕活動の充実と会員増強がクラブ総員の目標となっている。



五条川堤防清掃と植栽整備作業の様子



早朝坐禅例会にて坐禅の仕方の説明を聞く様子

名古屋城北ロータリークラブ (2006年度より豊山・城北RCから名称変更)

創立	1986年3月11日	承認	1986年3月24日
チャーター ナイト	1986年6月29日	チャーター メンバー	27名
スポンサー クラブ	名古屋空港ロータリークラブ	分区	東尾張分区
会員数	23名(2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分～
例会場	名古屋栄東急イン 〒460-0008 名古屋市中区栄3-1-8		
事務局	〒460-0008 名古屋市中区栄2-4-11 チサンマンション広小路305号室 TEL: (052) 201-1141 FAX: (052) 201-5679 URL: http://www.2760rc.org mail: t-jrc@ceres.ocn.ne.jp		

■進化の10年

1998 - '99 年度：豊山中学校への植樹／地元小学校へプランタン寄付／豊山社会福祉協議会に50万円寄付

1999 - '00 年度：長野県清内路と豊山町の子ども交流会実施

2000 - '01 年度：15周年記念式典実施／社会福祉協議会へ寄付

2001 - '02 年度：姉妹クラブ飯田東RCとの合同による名古屋ドームナイター例会

2002 - '03 年度：再生保護女性会、豊山ボーイスカウト、豊山町女性の会へ寄付／社会を明るくする運動にうちわを寄贈

2003 - '04 年度：飯田東RCと交流家族会実施／豊山町バザーに参加／長野県清内路子供会との交流会／愛知県警への職場訪問／タイにおけるWCSに参加

2004 - '05 年度：豊山町生誕100周年記念植樹／愛知万博ロータリー館での例会実施および各国への例会開催の案内

2005 - '06 年度：20周年記念式典実施。飯田東RC・台北仁愛RC・東京臨海RCの皆様と東尾張分区の会長幹事をお迎えして盛大に開催

2006 - '07 年度：タイにおけるWCSに参加／ラオスの小学校建設プロジェクトに参加／姉妹クラブの台北仁愛RC 20周年記念式典に参加／名古屋城北RCへの名称変更の申請し、承認を得る

2007 - '08 年度：(財)名古屋城振興協会会長池山武志氏を名誉会員に推挙、承認を得る／CLPの導入／小人数クラブ同士による4RC合同例会の開催

ここ10年の間に、当初のメンバー構成に比べ、事業所、住所とも、名古屋在住のメンバーが大幅に増えたため、会員増強を図るうえで、クラブ名称が大きなネックとなっていた。そこでRIに申請し、2007年5月30日付けでクラブ名を「名古屋城北ロータリークラブ」へと変更した。この10年で、会員数は半減のやむなきに至ったが、この名称変更を契機に、気持ちも新たにして将来の発展を目指し、活動している。



2005 愛地球博ロータリー館にて姉妹クラブ飯田東RCと



例会風景

愛知長久手ロータリークラブ

創立	2002年6月25日	承認	2002年6月28日
チャーター ナイト	2003年2月1日	チャーター メンバー	22名
スポンサー クラブ	瀬戸ロータリークラブ	分区	東尾張分区
会員数	22名(2008年6月末現在)	例会日時	火曜日 12時30分~
例会場	名古屋イーストサニーガーデン 出雲殿 〒488-0031 尾張旭市晴丘町東34-1		
事務局	〒481-1101 愛知郡長久手町大字熊張字真行田34 加藤整形外科内1階 TEL: (0561)64-5446 FAX: (0561)64-5459 mail: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp		

■進化の10年

当クラブは創立6年のクラブで、愛知万博のホストの一担を務めさせていただくなどしてきたが、6年を経過しようやくロータリー活動を理解し、行動に移ってきた段階である。これまでの活動内容を奉仕活動別に列記すると以下の通りである。

社会奉仕活動 フロール会支援(2003~'04年)・トマト収穫祭支援(2004~'05年)・ノーマライゼーション運動会支援(2005~'06年)。以上は障害を持つ子どもたちへの奉仕活動である。その後地域への活動へ進み、長久手町民まつりへの参加(2006~'07年、2007~'08年)・アートフェスティバルの主催(2007~'08年)を行ってきた。

国際奉仕活動 地区委員の派遣に伴い、ラオスの子どもたちへの文具の支給を行った。当クラブからの文具支給(2006~'07年)、2760地区から協

力を得ての文具などの支給(2007~'08年)である。また、海外クラブとの交流は、台北の中原RC、明門RCとの友好関係を築いている。

職業奉仕活動 地区委員の派遣を2期連続で行っている。長久手町長を招いての職場例会を実施した(2007~'08年)。

クラブ奉仕活動 夜間例会、家族例会を増やしながら会員間の親睦に注力している。

新世代活動 長久手町少年サッカー大会の後援を行っているが、次のステージへの進化を模索している。

米山獎学生の受け入れ 金泰善君の受け入れを行った(2006~'07年、2007~'08年)。

今後の10年は、会員の増強と活動の充実を目指してアグレッシブなクラブにしたいと考えている。



長久手アートフェスティバル会員集合写真(2007年11月3日)



愛知長久手創立5周年記念例会の会場風景写真(2007年2月3日)

名古屋ロータリークラブ

創立	1924年12月17日	承認	1925年2月7日
チャーター ナイト	1925年4月26日	チャーター メンバー	25名
スポンサー クラブ	東京ロータリークラブ	分区	西名古屋分区
会員数	181名(2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分～
例会場	名古屋観光ホテル 〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-30		
事務局	〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-30 名古屋観光ホテル内 TEL: (052) 219-1361 FAX: (052) 219-1362 mail: rotary_nagoya@nyc.odn.ne.jp		

■進化の10年

クラブの特色

1925年2月7日に設立承認を受けた当地区最古の伝統あるクラブである。県内のみならず岐阜、三重、長野の各県にもスポンサークラブとしてロータリーの普及に努め今日に至る。

この10年の奉仕の歩み

2003年5月:「愛・地球博」開催にあたり「ロータリーホテル建設協賛チャリティーコンサート」を協賛。
2005年2月:創立80周年記念式典。万博ロータリーホテル建設運営協力金100万円を寄贈。
2005年5月:名古屋中、名古屋大須、名古屋栄RCと合同で名古屋市中消防署に消防指揮官車を贈呈。
2006年9月:名古屋観光ホテルに名古屋中・名古屋南RCと合同でAEDを寄贈。

2008年 中区制100周年記念事業に旧町名表示板設置に100万円を寄付の予定。

特記すべき活動

1998年12月:ロータリー研究会の開催。レイシーリー会長夫妻をはじめ、国内外よりパストガバナーご夫妻780名が参加。名古屋RCが準備をさせていただいた。
1999年6月:(若松会長)2,500回例会を祝う。
2000年2月:(佐伯会長)創立75周年記念式典を開催。クラブ75年誌作成。
2004-'05年度:大島宏彦氏ガバナーに就任。
2005年2月:(葛西会長)創立80周年記念式典を開催。盛田和昭パストガバナー寄贈による名古屋RCのクラブソング「輝け名古屋ロータリー」を発表。



創立80周年記念式典にて「輝け名古屋ロータリー」を発表



名古屋観光ホテルに3RC合同でAEDを寄贈

名古屋西ロータリークラブ

創立	1953年12月10日	承認	1954年2月5日
チャーター ナイト	1954年6月7日	チャーター メンバー	27名
スポンサー クラブ	名古屋ロータリークラブ	分区	西名古屋分区
会員数	100名(2008年6月末日現在)	例会日時	木曜日 12時30分～
例会場	名古屋マリオットアソシアホテル 〒460-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4		
事務局	〒460-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4 名古屋マリオットアソシアホテル2223号室 TEL: (052) 581-4715 FAX: (052) 581-7800 mail: n-west@triton.ocn.ne.jp		

■進化の10年

この10年間に、当クラブは2人のガバナーを輩出した。1998～'99年度の内藤明人君、2005～'06年度の高橋治朗君の2人である。10年間で2人もガバナーを送り出すのは大いに名誉なことで、当クラブの総力をあげて支えてきた。その結果、少なからず第2760地区のお役に立てたのではないかと思っている。

当クラブは奉仕活動として、長年、西区・中村区の父子・母子家庭の中学生進学児童、日本赤十字愛知短期大学、西消防署、児童養護施設そしてアジア保健研究所などに積極的な支援活動を行ってきた。

今は環境問題に力を入れ、例会における地球温暖化に関する勉強会、風力発電所やリサイクル工場など環境保全に積極的に取り組んでいる会社

の見学会など、会員の環境意識向上に努める一方、2006年度にCO₂削減を訴える「みんなで減らそうCO₂盆踊り」、2007年度は環境教育に関する「生物多様性エコソング」のCDを作り、名古屋市を通じて幼稚園や学校はじめ関係機関に配布し好評を得ている。

2004年2月5日、神田愛知県知事、松原名古屋市長、豊島ガバナーはじめ多くのご来賓の方々のご出席のもと、創立50周年記念式典を開催し、半世紀のあゆみを確認できたことは、会員一同の喜びであった。これからも当クラブの気風である「自由闊達」を大切にし、クラブのさらなる発展に努め、クラブ奉仕活動を積極的に展開していきたい。



環境保全企業見学会



創立50周年記念式典

名古屋南ロータリークラブ

創立	1957年2月20日	承認	1957年4月1日
チャーター ナイト	1957年6月28日	チャーター メンバー	21名
スポンサー クラブ	名古屋ロータリークラブ	分区	西名古屋分区
会員数	120名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分~
例会場	名古屋観光ホテル 〒460-8608 名古屋市中区錦1-19-30		
事務局	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-12 東洋ビル B1 TEL: (052) 221-6533 FAX: (052) 222-3626		
	URL: http://www.nagoya-south.jp/ mail: nagos-rc@soleil.ocn.ne.jp		

■進化の10年

クラブの奉仕活動

1998年度から2007年度の10年を振り返ると、まず国際奉仕においては、1993年度に姉妹提携クラブであるブラジル・サンパウロ南RCとのマッチングプロジェクトが2003年度に実を結んだ。

さらに、2007年度には先方クラブからの依頼もあり、ブラジルの学校へ教育資材の提供や病院への医療機器提供など、幅広くマッチンググランドを継続している。

また、2007年には創立50周年の奉仕事業の一環として、ロータリー財団、米山記念奨学会に寄付を行った。

社会奉仕事業としては2007年度は、福祉施設への介護車両の提供、幼児・小学生を対象とした「こども絵画展」を開催した。

2008年度は、地区補助金を得て、日ごろから友好関係が深い名古屋東南・名古屋瑞穂・名古屋名

南の各RCおよび名古屋熱田RACの協力を経て熱田神宮へAEDを4基寄贈した。

操作法の講習会を併せて開催したところ、テレビ局や新聞各社に取り上げられ、ロータリー活動の一端を広報することができた。

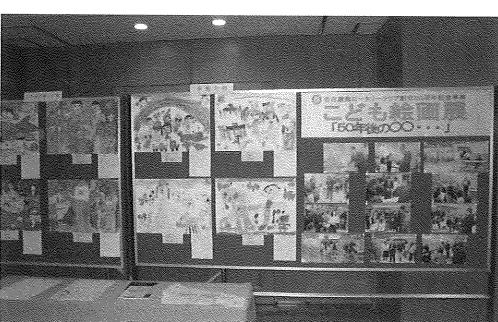
特記すべき事項

名古屋南RCの組織の特徴は、長期ビジョン協議会の存在である。

構成員15名のベテラン・若手会員が長期的な視野からクラブの在り方、運営活動方針などを協議し、その結果を会長に答申し、問題解決を図っている。

平均年齢61.3歳であるが、老壯青のバランスが取れ、活気に満ちたクラブ活動が展開されている。

今後、名古屋有数の歴史と伝統のあるクラブとして、より一層の社会貢献を目指す。



「こども絵画展」上位入賞作品（創立50周年記念式典会場にて）



AED操作法の講習会（熱田神宮会館にて）

名古屋みなとロータリークラブ

創立	1966年4月21日	承認	1966年5月12日
チャーター ナイト	1966年10月18日	チャーター メンバー	26名
スポンサー クラブ	名古屋西ロータリークラブ	分区	西名古屋分区
会員数	73名(2008年6月末日現在)	例会日時	金曜日 12時30分~
例会場	名古屋マリオットアソシアホテル 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4		
事務局	〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4 名古屋マリオットアソシアホテル2222号室 TEL: (052)586-2955 FAX: (052)586-2956		
	URL: http://www.portnagoya-rc.com mail: office@portnagoya-rc.com		

■進化の10年

この10年間のクラブの主な沿革としては、1999年に名称を「港」から「みなと」に改名、同年ホームページも開設した。2001年には例会場を「名鉄グランドホテル」から「名古屋マリオットアソシアホテル」に変更した。周年行事としては2000年に創立35周年を、2005年には40周年記念式典を挙行し、記念誌「40年のあゆみ」を発刊した。

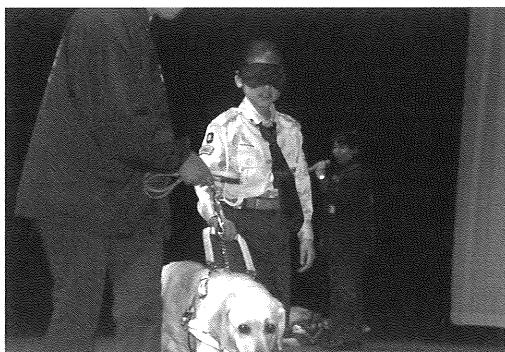
クラブにおける奉仕活動として、①職業奉仕は、職業奉仕月間にPGによる卓話が2回。事例集、社是・社訓集、小冊子6冊を発刊、内「職業奉仕を理解するために」と「ロータリーの軌跡と目的」は著名。そのほかに職場見学、救命救急講習会などがある。②社会奉仕は、単年度事業として元環境庁長官や中川・港各消防署長の卓話。優良消防吏員や警察官表彰。露橋・富田両作業所や港図書館などへの寄贈。地区の地球環境講演会、グ

リーンキャンペーン、530運動、AEDなどへの協力などがある。

また、継続事業は昭和橋作業所、港養護学校、歳末助け合い募金などに援助協力している。③国際奉仕は米山奨学生6名、青少年交換学生2名を受け入れ、財団奨学生5名、GSE2名を派遣した。ほかにルワンダの義足支援や地区WCS支援協力。国際親善旅行を5回実施。特記すべきは2006年ラオス支援活動(写真左)で、消防車の寄贈、絵画の交換交流、救命救急(AED)の援助、歯科検診・予防など多岐にわたる活動を行った。④新世代の奉仕としては、新世代会議開催(写真右)、名古屋みなとRAC創立25周年・30周年、年次大会、アクターズミーティングなどへの参加、援助を行った。



2007年 ラオスへ贈った消防車



2005年 新世代会議(盲導犬「クィール」上映会でのデモンストレーション)

名古屋東南ロータリークラブ

創立	1969年3月6日	承認	1969年3月12日
チャーター ナイト	1969年3月12日	チャーター メンバー	26名
スポンサー クラブ	名古屋南ロータリークラブ	分区	西名古屋分区
会員数	86名 (2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分～
例会場	名古屋マリオットアソシアホテル 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4		
事務局	〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4 マリオットアソシアホテル2203号室 TEL: (052)583-0010 FAX: (052)583-0009 URL: http://www.rc-nagoya-southeast.com mail: serc@h3.dion.ne.jp		

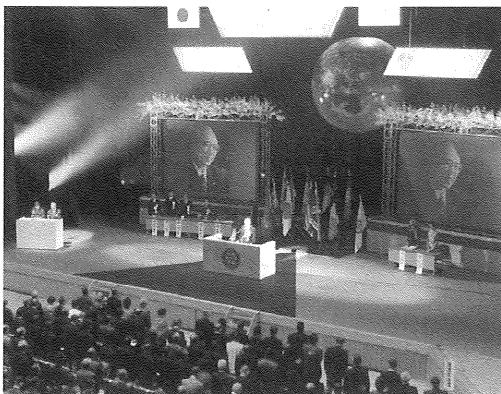
■進化の10年

1998年11月にRI第2760地区・地区大会をホストクラブとして開催した。この大会は、「21世紀への懸橋 創業と交流の点鐘」をテーマに小谷隆一氏をRI会長代理としてお迎えし、2,600名のロータリアンの参加者が集った。本会議では「21世紀への懸橋“本音で語ろう教育問題”」をテーマに講演やミーティング、また21世紀の主役となる子どもたちのために優しく美しい地球環境をこしらえようと吉村作治氏による記念講演が行われた。同じ年度の1999年3月には創立30周年記念事業も開催した。

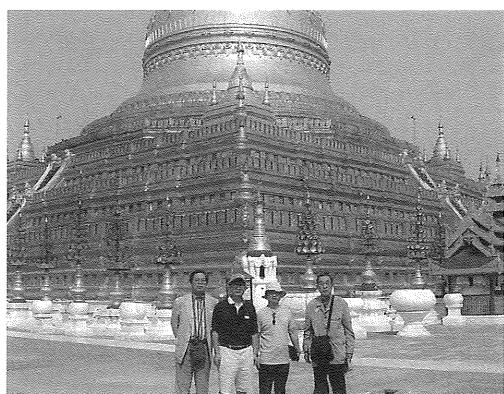
創立20周年記念に大高緑地公園内に『友愛の庭』を寄贈して以来、『530運動』青空例会を年1回5月に開催している。緑豊かな地域を目指して『百果林運動』を行い、緑区をはじめ南区など

の中学校に樹林を寄贈している。また中京文庫図書の補充、AED(自動対外式除細動機)の寄贈や普及にも力を入れている。2005年に行われた「青少年支援ロータリークラブ100周年記念イベント10代フォーラム」もまだ記憶に新しい。WCS活動については、財団法人オイスカの支援としてミャンマー・パガンジー村の水利設備工事に取り組んだ。継続3年で合計135万円を寄付した。2004年、2005年4月の2年にわたり現地の工事進捗状況を視察。またマンダレー・ヤンゴン大学を訪れ、日本語学科に漢英辞典などを寄贈した。

2008~'09年度には、名古屋東南ロータリークラブ創立40周年を迎える。これを節目に地域社会や海外への持続可能なる奉仕をしていきたいと考えている。



1998~'99年度 国際ロータリー第2760地区・地区大会開催



2005年 WCS活動 ミャンマー水利設備工事進捗視察旅行

名古屋中ロータリークラブ

創立	1969年10月6日	承認	1969年10月13日
チャーター ナイト	1970年4月5日	チャーター メンバー	24名
スポンサー クラブ	名古屋ロータリークラブ	分区	西名古屋分区
会員数	140名 (2008年6月末日現在)	例会日時	月曜日 12時30分～
例会場	名古屋観光ホテル 〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-30		TEL: (052) 231-7711
事務局	〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-30	名古屋観光ホテル内 TEL: (052) 231-1687 FAX: (052) 202-1703	
	URL: http://www.nagoyanaka-rc.org		mail: info@nagoyanaka-rc.org

■進化の10年

1969年に名古屋ロータリークラブより地域分割を受け、名古屋市の商業中心地・中区をテリトリーとして設立。現在140名余のメンバーに恵まれ、職業分類も極めて多種多様であり、年齢構成も幅が広いのが特徴。この10年間に会員数は減少する傾向にあったが、会員増強に力を注いだ結果歯止めが掛かり、現在の規模を保っている。また親睦例会や小旅行などを通じ、会員とその家族の交流も盛んで団結力も強く、多様な趣味の会の活発な活動は会員の相互理解と懇親に役立っている。この10年の主な活動は以下の通りである。

1998 - '99年度: 地区協議会ホスト
ホームページ開設

1999 - '00年度: 創立30周年事業『ISO 14001』
取得。RCC活動への支援を開始

2002 - '01年度: 環境ISO委員会設立

2001 - '02年度: チャリティーコンサート開催
RI広報賞の受賞



地区大会 (2006年11月18～19日)

2002 - '03年度: 『名古屋手をつなぐ育成会RCC』
～助成金贈呈

2003 - '04年度: 西名古屋分区幹事会ホスト

2004 - '05年度: 創立35周年事業『素晴らしき仲間たち、ここを語る』の発刊
＊会員各自が自身の人生・家庭・RC活動を振り返り、自分の心としての所感を取りまとめた

2005 - '06年度: 地区大会準備委員会設立

2006 - '07年度: 地区大会ホスト
記念講演 奥田碩氏

2007 - '08年度: 職業奉仕月間特別講演『塩川正十郎氏講演』・IMホスト『藤原正彦氏講演』・杉本ガバナー補佐輩出

2009年に創立40周年を迎えるが『若さと品格、気楽で楽しいクラブづくり』のもと、さらなる発展と我がクラブならではの団結力を生かした地域社会への職業奉仕を目指している。



西名古屋分区IM (2008年2月19日)

名古屋瑞穂ロータリークラブ

創立	1980年1月10日	承認	1980年1月21日
チャーター ナイト	1980年5月10日	チャーター メンバー	34名
スポンサー クラブ	名古屋南ロータリークラブ	分区	西名古屋分区
会員数	72名(2008年6月末日現在)	例会日時	木曜日 12時30分~
例会場	ヒルトン名古屋 〒460-0008 名古屋市中区栄1-3-3	TEL:	(052)212-1111
事務局	〒460-0008 名古屋市中区栄1-3-3 ヒルトン名古屋910号室 TEL: (052)211-3803 FAX: (052)211-2623 URL: http://www.mizuho-rc.jp/	mail:	2760nagoya@mizuho-rc.jp

■進化の10年

社会奉仕委員会が中心となり熱田神宮でホタルの飼育を行い、地域周辺小学校へ広く呼びかけ15年におよぶ活動を行った。この事業は地域社会で大きく扱われ、新聞に数回発表され人気を呼んだ。

1998～'99年は、ニューギニア津波の災害で義援金を送るほか、バルカン半島救護基金、バングラデシュ洪水義援金、台風「ミッチ」救援基金、ユーゴスラビア救援基金、米山梅吉記念館寄付などが行われ、事の多い年であった。

2000年は瑞穂RC創立20周年記念式典をヒルトン名古屋で行った。記念事業は、①ロータリー財団への寄付、②台北延平RCとの共同事業の一環として、名古屋市総合リハビリセンターへカラーブラズマディスプレイとリハビリ研究基金の寄付、③熱田神宮へホタル飼育用水質浄化槽寄贈、④台北延平RCとの共同事業の一環として、台北市脊髄損傷プロテクトセンターへの生活訓練設備の寄付を行った。式典では熱田神宮より舞楽「胡蝶」の舞が演じられ、品位ある中盛大に行われた。

2001年以後、引き続き数々の奉仕活動が行われ、



創立20周年記念式典



高村博三実行委員長

地域でのニーズにあった活動を展開した。

2004～'05年は、名古屋瑞穂RC創立25周年。25周年式典は万博会場ロータリー館での記念例会と併せて、ご出席いただいたパストガバナーはじめ来賓の皆様、姉妹提携・国内友好クラブの皆様にも深い感銘を受けていただいた。

記念事業として、①ロータリー財団、米山記念奨学会への特別寄付、②ウガンダ共和国へNGOハンガー・フリー・ワールドを通じ、井戸と小学校を建設し寄付をした。これは大変大きな事業となった。



創立25周年記念式典。ウガンダ共和国ルウェンウェデ村に小学校校舎建設、井戸1基を寄贈



2007～'08年、時の経つのは早いもので、数々の実績を上げ、クラブ運営に励んできた。中でも長期ビジョン委員会は立ち上げてから3年目を迎え発足以来積極的な活動を続けている。

2008年3月15日には台北延平RCとの姉妹提携更新調印式を行った。1987年2月11日に姉妹提携を結び、以来21年となった。

10年の移り変わりの中、CLPの理解と実践に努め、さらなる友愛と信頼を深めたい。

名古屋大須ロータリークラブ

創立	1985年2月7日	承認	1985年2月12日
チャーター ナイト	1985年5月26日	チャーター メンバー	40名
スポンサー クラブ	名古屋中ロータリークラブ	分区	西名古屋分区
会員数	69名(2008年6月末日現在)	例会日時	木曜日 12時30分~
例会場	名古屋東急ホテル 〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-8		
事務局	〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-5 丸越ビル6階 TEL: (052)251-2411 URL: http://www.nagoya-osu.org		
	TEL: (052)251-0181 FAX: (052)251-0337 mail: office@nagoya-osu.org		

■進化の10年

当クラブは、地域活性化事業を軸とした社会奉仕活動と、青少年交換活動を軸とした国際奉仕活動に特色がある。特に、2003年の秋以来、当クラブの地元である、大須地域の人たちと取り組んできた地域活性化事業は、毎年、内容を変えながら継続されている。2003年は、「大須観音 鬼の嫁取り物語」と題して、大須観音の寺宝である鬼の面に、嫁をもらうという設定で、新たに能面を制作、商店街をパレードして、地域を盛り上げた。2004年には、地域の子どもたちに、日本の古典芸能を知ってもらうという狙いで、大須小学校の児童を寄席に招待。2005年には、「来て、見て、大須を知って!」と題し、大須の街に、2760地区の交換留学生を招待して、日本の大衆芸能と、大須の街に触れる機会をつくり喜ばれた。2006年には、大須の街の史跡を子どもたちに知ってもらお

うと、大須小学校の児童と一緒に、大須の街史跡巡りオリエンテーリングを企画、児童たちに楽しく地元の歴史を学んでもらった。2007年は、青少年健全育成と地域活性化という方針のもと、大須小学校体育館での島田洋七氏を招いた講演会と、地域ぐるみでの青少年の健全育成の大切さを、ドラゴンズの選手とともに街へ出て訴えた。青少年交換活動も、毎年継続して行っている事業で、特に2007~'08年は、交換学生2人の派遣と受け入れを行った。青少年交換活動は、ホストファミリーだけでなく、クラブメンバー全員の理解と協力のもと行われる地道な活動だが、大きな事故もなく継続していることは、当クラブの誇りである。

2008年に、25周年記念事業を控え、さらなる飛躍を期し、新しいことに挑戦し続けている。



創立20周年記念事業 鬼の嫁取り物語行列



受け入れ青少年交換学生帰国のお見送り

名古屋栄ロータリークラブ

創立	1990年4月16日	承認	1990年5月1日
チャーターナイト	1990年6月16日	チャーターメンバー	53名
スポンサークラブ	名古屋ロータリークラブ（ホスト：名古屋中RC・名古屋大須RC）	分区	西名古屋分区
会員数	71名（2008年6月末日現在）	例会日時	月曜日 18時～
例会場	名古屋クレストンホテル 〒460-0008 名古屋市中区栄3-29-1		
事務局	〒460-0008 名古屋市中区栄3-29-1 名古屋クレストンホテル1045号室 TEL: (052)242-6848 FAX: (052)242-6208 URL: http://sakaerc.web.infoseek.co.jp mail: rc-sakae@courante.plala.or.jp		

■進化の10年

当クラブの近10年を振り返ると、2000年に創立10周年を迎え、それまでの若いクラブという意識から中堅クラブへの意識変化、また翌年には、クラブから初めてガバナー補佐を出し、21世紀初のIMのホストを務めるなど、それまでのクラブ内の充実に重点をおいた活動から、外部にも目を向けた活動に移行していく10年であったと思う。

クラブの奉仕活動としても、それまでは、金銭面での援助のみであった奉仕を、汗を流した奉仕活動も実践できるようになった。

例えば、ここ数年行っている、遺児の進学を支援するための「あしなが街頭募金」でのメンバーによる街頭での募金の呼び掛けや、虐待を受けた子どもたちが、人への信頼・人間愛や自信を取り戻す一助となるようメンバーとものづくり体験を通しての触れ合いなど、メンバーが一丸となって行った。

また、昨今その必要性が注目されている「AED」の普及にも努め、いち早く公共施設への寄贈を行い、当RCの寄贈したAEDによって、1名の尊い命が助かったという報告を受けたことは大変喜ばしいことであった。また、いざとなったときにメンバー自ら救助活動ができるよう「救命救急講習会」なども開催した。

このような活動も引き続き行なながら、来る次々年度の創立20周年に向けてより一層の会員の団結を図り、地域に貢献できるさらなる活動を行っていく所存である。



「あしなが街頭募金」でのメンバーによる街頭での募金の呼び掛け



地下鉄栄駅への「AED」寄贈

名古屋名南ロータリークラブ

創立	1991年2月19日	承認	1991年3月8日
チャーター ナイト	1991年5月12日	チャーター メンバー	59名
スponサー クラブ	名古屋東南ロータリークラブ	分区	西名古屋分区
会員数	69名 (2008年6月末現在)	例会日時	火曜日 18時30分～
例会場	名古屋マリオットアソシアホテル 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4		TEL: (052)584-1111
事務局	〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4	名古屋マリオットアソシアホテル2202号室 TEL: (052)586-2043 FAX: (052)586-2054	
	URL: http://www.meinan-rotary.com/	mail: info@meinan-rotary.com	

■進化の10年

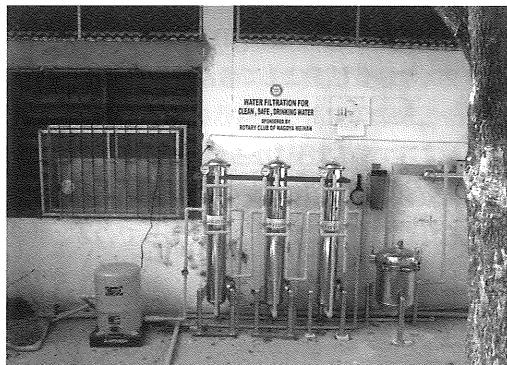
当クラブは発足以来「明るく楽しいクラブ活動」をモットーに、青少年問題に取り組んできた。

愛知県警との協力のもと、青少年柔剣道大会の支援、青少年の非行防止キャンペーンなどを行ってきたが、最近は中央有鄰学院、名古屋養育院などの施設の子どもたちに、名古屋熱田ローターアクトクラブの若者たちと協力して、楽しい思い出づくりの各種事業を展開してきた。

今年度は国際奉仕活動にも力を注ぎ、国際ロータリーの提唱である「水」の問題を取り上げ、タイ国チェンマイ県の孤児施設ドンチャン寺院に収容している孤児の健康を維持するため、「良質の水」ということで、男女各300 数十名の宿舎に十分な容量の浄水装置を各1基設置して、安心して飲める飲料水を確保した。当クラブの会員総意の浄財を持って、今回は単独事業としたが、今後は地区

の協力もいただき、「水問題」、「識字率向上」などの事業を推し進める予定である。

国内外を問わず、青少年の健全な育成に必要なバックアップをこれから先も当クラブの基本的な奉仕活動として進めていきたい。



中央有鄰学院へ遊具寄贈 (2004年11月20日)



タイ・ドンチャン寺院へ浄水装置を寄贈 (2007年11月25日)

名古屋名駅ロータリークラブ

創立	1991年4月3日	承認	1991年4月17日
チャーター ナイト	1991年6月1日	チャーター メンバー	66名
スポンサー クラブ	名古屋西ロータリークラブ	分区	西名古屋分区
会員数	83名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分~
例会場	名鉄ニューグランドホテル 〒453-0015 名古屋市中村区椿町6-9	TEL:	(052)452-5511
事務局	〒453-0015 名古屋市中村区椿町6-9 名鉄ニューグランドホテル8階 TEL: (052)453-0808 FAX: (052)453-0800		
	URL: http://www.nagoya-meieki.com	mail:	meiekirc@f5.dion.ne.jp

■進化の10年

1998年は7月にAFS協会へ援助金、1月に海外医学医療交流振興会へ賛助金贈呈。1999年は青少年交換留学生を初めて派遣・受け入れ。医学医療振興会へ賛助。ガバナー努力賞受賞。創立10周年の2000年には、9月名古屋駅太閤口に記念モニュメント「友好」を建立・名古屋市へ贈呈、4月記念式典開催。9月名古屋市へ東海集中豪雨義援金を寄贈。女性会員が誕生したのもこの年である。2001年は10月、クラブ区域内小学校と国際学校生徒の交流をサポートするGCP(グローバルチルドレンプログラム)を新世代委員会主催で実施、「RI意義ある業績賞」受賞。モンゴル緑化事業へ基金贈呈、なごや民間大使はじめ在日外国人による卓話など創立以来のテーマ「名駅から世界へ」に沿った年度となった。2002年は初の青島邦夫ガバナー補佐を輩出、IM主催。アフリカ村

おこし運動へ支援金贈呈。2003年は愛知万博協会へ車いす50台を寄贈、財団ジャパンプログラム奨学生を受け入れた。2004年は10月に中日新聞社会事業団へ新潟中越沖地震義援金寄贈。2005年に創立15周年記念式典開催。2006年は例会場へAED寄贈、台北建成RCと友好クラブ提携。

これまでにロータリー財団国際親善奨学生8名、米山奨学生8名、青少年交換学生8名(派遣・受け入れ各4名)をサポート。地域社会の貢献として愛知県警鉄道警察隊17回、中村消防署5回の顕彰を行い、クラブ独自の表彰制度・椿賞は17の団体個人を表彰している。さらに名駅タワーズガーデンで開催の名古屋名駅薪能に創設以来協力。第7回を数える今は、名古屋の夏の風物詩として定着しつつある。



創立10周年記念モニュメント「友好」披露の様子



創立17周年記念例会 第17回椿賞表彰(2008年4月16日)

名古屋西南ロータリークラブ (2008年度より名古屋丸の内RCに名称変更)

創立	1995年3月9日	承認	1995年3月28日
チャーターナイト	1995年5月25日	チャーターメンバー	41名
スponサークラブ	名古屋みなとロータリークラブ	分区	西名古屋分区
会員数	52名(2008年6月末日現在)	例会日時	木曜日 12時30分~
例会場	名古屋クレストンホテル 〒460-0008 名古屋市中区栄3-29-1		TEL: (052) 264-8000
事務局	〒460-0008 名古屋市中区栄3-29-1	名古屋クレストンホテル1007号室 TEL: (052) 263-1324 FAX: (052) 263-0730	
	URL: http://rc.nagoya-seinan.org/		mail: seinan1@fancy.ocn.ne.jp

■進化の10年

2003～'04年度、「輝け! 友情のかけ橋～世界から日本へ～」のテーマのもとに、西名古屋分区IMを開催した。2年後のセントレア開港と「愛・地球博」開催にちなんだテーマとした。クラブにとって初めての力量を問われる大事な行事であったが、一致団結して難局を乗り越えることができた。

2004～'05年度、創立10周年記念事業の一環として、国際奉仕活動に取り組んだ。カンボジア王国コンポット州チューバーアンペル村の子どもたちの教育環境を改善するため、職員室を建設し寄贈した。この教育への国際奉仕活動に対し、セン首相から感謝状と勲章を授与された。これを契機に、2005～'06年度、無医村の住民に疾病の予防と治療を通じ健康状態を改善する目的で、チューバーアンペル村に診療所を建設し寄贈した。



2004年 IM主催。500名のロータリアンが出席された

2006～'07年度にはこの診療所に付随した発電機、医薬品と救急車を寄贈した。2007～'08年度も医薬品や医師・看護士に掛かる経費などの支援を継続している。

2007年、次年度の機構改革を柱としたCLP導入が決まり、同時にクラブ名称・所在地域の改変の機運が高まった。創立13年を経てクラブ所在地域の中川区・港区の会員の割合が3分の1程度に減少してきたため、実情に即した対応が求められた。RI理事会への変更申請を経て、2008年3月18日に承認を得た。新名称を「名古屋丸の内ロータリークラブ」とし、所在地域も名古屋市内とした。まさに進化の10年の掉尾を飾るのに不相しい慶事といえる。脱皮を果たしたクラブがどんな変化を遂げるか、次の10年が楽しみである。



2006年 イルカ作業所の障害者の方々との「ふれあい例会」

名古屋北ロータリークラブ

創立	1959年5月21日	承認	1959年6月17日
チャーター ナイト	1960年3月6日	チャーター メンバー	23名
スポンサー クラブ	名古屋ロータリークラブ	分区	東名古屋分区
会員数	94名(2008年6月末日現在)	例会日時	金曜日 12時30分~
例会場	名古屋東急ホテル 〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-8	TEL:	(052)251-2411
事務局	〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-5 丸越ビル6階	TEL:	(052)262-7580 FAX: (052)262-7810
		mail:	nnorthrc@poppy.ocn.ne.jp

■進化の10年

名古屋葵ロータリークラブの誕生

当クラブがスポンサーとなり、国際ロータリー生誕100周年記念事業として、「名古屋葵ロータリークラブ」が、2005年5月23日の創立総会をもって新発足、R I 加盟認証状伝達式が同年6月29日名古屋東急ホテルにて開催され、地区内唯一のモーニング例会クラブとしてスタートした。特別代表は当クラブ会員の浦野三男氏。

東名古屋分区ガバナー補佐

2005～'06年度東名古屋分区ガバナー補佐に、当クラブ会員の田嶋好博氏が就任。

児童養護施設「慈友学園」との絆

「慈友学園」とは、1999年9月4日児童18名をナゴヤドームで開催された早慶戦の観戦に招待したことからきっかけに交流が続いている。

ロータリー財団地区補助金を活用し、2005年

12月4日に、「ティーボール大会」を星城高等学校にて開催。2006年8月27日郡上八幡森林自然公園にて「森林自然体験」、2007年7月21日鳥羽市相差の前之浜漁港で「地引網体験」、2008年5月18日新城市四谷千枚田にて「田植え体験」、同年9月7日には「稲刈り体験」を予定するなど、当クラブの代表的な社会奉仕事業となっている。

創立記念式典

【創立40周年記念式典 1999年5月21日】

名古屋市東区教育振興会へ、東区内13小・中学校の図書購入資金として130万円を寄贈。
名古屋北RC創立40周年記念誌を発行。

【創立45周年記念式典 2004年5月21日】

市内養護学校4校へ行動支援学習ボードを寄贈。
名古屋北RC創立45周年記念誌発行。

【創立50周年記念式典 2009年5月22日】



名古屋葵ロータリークラブの創立総会にて(2005年5月23日)



四谷千枚田にて慈友学園児童との田植え体験(2008年5月18日)

名古屋東ロータリークラブ

創立	1959年5月21日	承認	1959年6月30日
チャーター ナイト	1960年3月6日	チャーター メンバー	27名
スponサー クラブ	名古屋ロータリークラブ	分区	東名古屋分区
会員数	91名 (2008年6月末現在)	例会日時	月曜日 12時30分~
例会場	ウェスティンナゴヤキャッスル 〒451-8551 名古屋市西区樋の口町3-19		TEL: (052)521-2121
事務局	〒460-0003 名古屋市中区錦3-14-25 アサヒビル6階 URL: http://www.rc-nagoyaeast.com	TEL: (052)971-8686 FAX: (052)971-8855 mail: rc.e.ngo@aiores.ocn.ne.jp	

■進化の10年

クラブ創立40周年

1999年(平成11年)6月21日、ホテルナゴヤキャッスル「天守の間」において、40周年記念式典が、来賓各位のご列席のもと盛大に開催された。

小出実行委員長、平松会長以下、108名の会員および会員夫人が結束して努力した成果である。物故会員の令夫人も出席され、黙祷を行った。舞囃子「高砂」が奉納され、祝宴に色香を添えた。

記念事業として、折からオープンした千種スポーツセンターの入り口を飾るべく、石田武至作「歓び一月桂樹を手に勝利を歓ぶ」のブロンズ像を名古屋市へ贈呈した。今もさんぜんと輝いて立つ。



クラブ創立40周年記念式典

地区インタークトクラブ協議会をホスト

2002年(平成14年)7月20日、ウェスティンナゴヤキャッスルにおいて、インタークトクラブ協議会を、千種、昭和両クラブとともにホストした。

分科会は、①ガイドヘルプ ②点字 ③車いす ④手話 ⑤高齢者擬似 ⑥おりがみ ⑦音楽療法と各ルームに分かれて、熱心に開催され、我々会員は高校生と一緒にになって楽しく勉強をした。

出席された岡部ガバナーは大変感激されて後日の地区大会では、ガバナー賞の栄誉を得た。

名古屋千種、名古屋昭和RCとともにお世話をしている、桜花学園インタークトクラブは熱心な活動を続けている。頼もしい限りである。



R1第2760地区第13回(通算39回)インタークトクラブ協議会

名古屋守山ロータリークラブ

創立	1964年2月29日	承認	1964年5月7日
チャーター ナイト	1965年5月9日	チャーター メンバー	26名
スポンサー クラブ	名古屋北ロータリークラブ	分区	東名古屋分区
会員数	62名 (2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分～
例会場	名古屋マリオットアソシアホテル 〒460-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4		
事務局	〒460-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4 名古屋マリオットアソシアホテル2221号室 TEL: (052)561-7559 FAX: (052)561-1590		
	URL: http://business4.plala.or.jp/moriyama/ mail: myrotary1964@bz01.plala.or.jp		

■進化の10年

最初に、投稿の趣旨を歪曲する内容になってしまふことをお許しいただきたい。当クラブ奉仕の毎年を列挙するより、10年間の連帶を記載したいからである。

当クラブは2007年度にガバナー補佐(佐藤正延)を擁立した。10年前分区代理(山田静夫)からちょうど10年を経た。その間守山区の社会福祉協議会(RCC)への協力・応援、地元の警察・消防署・少年野球に毎年の表彰・寄付も含め、地元を愛し愛されるその辯は比類ないことを自他ともに認めている。

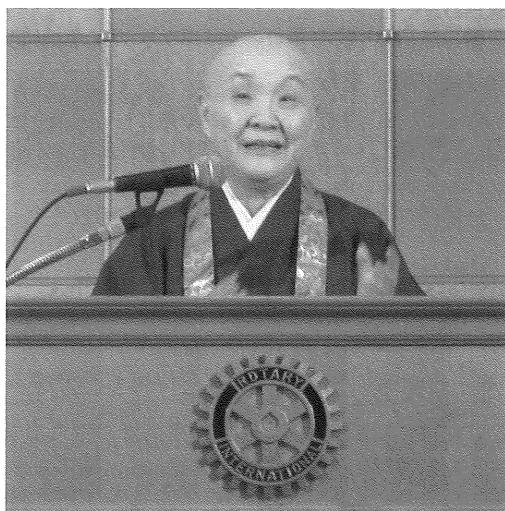
当クラブの特徴は、派手さはないが実に円満で

団結力が抜群に強いこと。ちょうど10年ほど前から女性会員も増え始めて、その積極的な活動がクラブ運営推進に多大な輝きを膨らませている。10年前ぶりにホストを務めたIMのテーマは「こころ」だった。時代への問いかけはもちろん! 今年度会長が掲げた〈全員参加のロータリー〉のクラブテーマを実践した。これでクラブ会員が揺るぎない結束を確認した成果が大きかった。

10年前より会員数は減ったが若い会員も増え世界への視野が広がってきた。地元のみならずWCSなど国際奉仕にも加速の10年である。



佐藤正延ガバナー補佐



IMテーマ「こころ」講演:瀬戸内寂聴さん (2008年2月27日)

名古屋和合ロータリークラブ

創立	1972年3月15日	承認	1972年4月2日
チャーター ナイト	1972年5月5日	チャーター メンバー	30名
スポンサー クラブ	名古屋東ロータリークラブ	分区	東名古屋分区
会員数	96名(2008年6月末現在)	例会日時	水曜日 12時30分～
例会場	ウェスティンナゴヤキャッスル 〒451-8551 名古屋市西区樋の口町3-19		
事務局	〒451-8551 名古屋市西区樋の口町3-19 ウェスティンナゴヤキャッスル内 TEL: (052)523-1998 FAX: (052)531-0727 URL: http://www.nagoya-wago-rc.org mail: wago-rc@infonia.ne.jp		

■進化の10年

当クラブのこの10年での大きな出来事は創立30周年事業と地区大会のホストである。

名古屋和合ロータリークラブは2002年3月13日、創立30周年記念式典を開催した。記念講演にはロータリークラブの活動にも詳しい永六輔氏をお招きし、失われつつある日本の良き精神“職人気質と藝人気質”について熱く語っていただき、ディナーショーでは山形由美さんの魅力あふれるフルート演奏を行った。また記念事業では、4月20日、長野県南木曽町において31本の桜の植樹を行った。追加の1本は相羽実行委員長の提案により本日参加できなかった会員のために、そして名古屋和合ロータリークラブが今後ますます発展することを願った「名古屋和合ロータリークラブ30周年記念夫婦の桜」である。

国際ロータリー第2760地区 地区大会

2000 2001年度RIテーマ
○ 意識を喚起し一進んで行動を



地区大会ホストを終えて……

2000年11月18、19日に開催した地区大会では全会員の総力を結集した結果、当日は3,300名を越える参加者があり、少ない予算の中でも、大成功裏に終了することができた。中坊公平氏による講演、オープニングで行ったコーラスの練習は延べ20回近くに及び、それを通じて会員、家族の深い信頼関係が築かれ、交流の輪が広がった。

当クラブの奉仕活動においては愛知署、天白署への交通安全器具の寄贈、優良警察官の表彰は当クラブの継続事業として行っている。また、新世代活動として、少年院へ優良図書を寄贈している。



創立30周年記念式典(記念講演)

名古屋名東ロータリークラブ

創立	1978年6月20日	承認	1978年6月30日
チャーターナイト	1978年10月29日	チャーターメンバー	30名
スポンサークラブ	名古屋和合ロータリークラブ	分区	東名古屋分区
会員数	58名 (2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分～
例会場	名古屋国際ホテル 〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-3		
事務局	〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-3 名古屋国際ホテル1214号室 TEL: (052) 962-9216 FAX: (052) 962-9207 mail: nmrc@nifty.com		

■進化の 10 年

我がクラブは、本年度 30 周年記念事業が 2007 年 10 月に大きな節目を迎え、無事終えることができた。これはひとえにチャータメンバーや今日まで我がクラブを支えてくださった関係各位の集大成であることに感謝申し上げる。その中で次年度は 11 月 15 日、16 日の両日に行われる地区大会のホストクラブとして大役を仰せ付かり、その翌年には分区大会（IM）を受けることとなっており、まさに我がクラブの団結力、組織力が問われる 10 年になるかと思う。これは会員増強のみならず、現会員の英知と行動を表現する良い機会と真摯に受け止め、各々の役割を満足のうちに終えることを切に願っているところである。



名東区小中学校連合音楽会

奉仕事業として、長久手町にある杣ヶ池公園の桜植樹事業（現在愛知長久手ロータリーとの合同事業）を継続して行っている。地域への環境保全事業にとどまらず、近隣住民の憩いの場の提供に結び付くことができればと願っている。

また名東区小中学校連合音楽会は我がクラブが 10 周年記念事業の一環として地元名東区の小中学校へ支援したことに始まり、本年 9 月に 21 年目を迎える。毎回プロの演奏者をお招きして、日ごろ味わう機会のない演奏に親しむ機会を提供し、情操教育の支援と青少年の健全育成その上、プロの音楽家を夢見て成功するアーティストが育ってくれたらと願っている。



長久手町杣ヶ池公園桜植樹

名古屋名北ロータリークラブ

創立	1981年3月4日	承認	1981年3月26日
チャーター ナイト	1981年6月27日	チャーター メンバー	34名
スポンサー クラブ	名古屋北ロータリークラブ	分区	東名古屋分区
会員数	48名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分～
例会場	A P A H O T E L 名古屋錦 〒460-0003 名古屋市中区錦3-15-30		
事務局	〒460-0003 名古屋市中区錦3-15-30 A P A H O T E L 名古屋錦560号室 TEL: (052)961-2399 FAX: (052)961-2391 URL: http://www17.ocn.ne.jp/~meihokrc/ mail: meihokrc@beach.ocn.ne.jp		

■進化の10年

1981年3月、名古屋北RCを親クラブとして北区・東区をテリトリーとするいわゆる2階建てクラブとして誕生した。本期で創立27周年となり、その間順調に発展してきたと言いたいところではあるが、ご多分にもれずバブル崩壊後の不況の中、RC全体の問題と同じく、当クラブも会員の減少、高齢化の問題に苛まれ多くの課題を抱えている。しかし、このような状況の中この10年間のうち、2000～'01年度には、当クラブから星川直志東名古屋分区ガバナー補佐を輩出し、2000年11月30日東名古屋分区IMのホストを務めた。またこの年度は、クラブ創立20周年に当たり、2001年3月2日に創立20周年記念例会を開催した。このとき、海外友好提携クラブのシンガポール、ラップルズシティRCおよび韓国、大邱東瑞RCからも多数の

会員が参加してくださり、国際色豊な記念式典となった。

どういう訳か5年後の2005～'06年度には、創立25周年記念とともに地区協議会のホスト役を仰せ付かり、まず、2006年3月4日、25周年記念例会を開催した。続いて翌月の4月16日、斎藤ガバナーエレクトの主催する地区協議会を星川大会実行委員長のもと、会員一同一丸となって無事大過なく開催できた。

また、この10年の奉仕活動としては、毎年継続して行っている北警察署、北消防署の優良署員表彰および次代を担う子どもたちのために北区子ども会大会において名古屋名北RC賞を設け、表彰をしている。



創立 20 周年記念式典 (2001 年 3 月 2 日)



2006～'07年度のための地区協議会を無事終えて (2006年4月16日)

名古屋千種ロータリークラブ

創立	1982年8月16日	承認	1982年8月24日
チャーター ナイト	1982年10月19日	チャーター メンバー	26名
スポンサー クラブ	名古屋東ロータリークラブ	分区	東名古屋分区
会員数	57名 (2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分～
例会場	名古屋東急ホテル 〒466-0008 名古屋市中区栄4-6-8		TEL: (052) 251-2411
事務局	〒464-0066 名古屋市千種区池下1-4-15 泰明ビル3A URL: http://chikusa-rotary-club.c-3.jp/	TEL: (052) 763-5110 FAX: (052) 763-5121	mail: chikusa_rc@hkg.odn.ne.jp

■進化の10年

奉仕活動

1998年12月、年末会員家族会にてモンゴルのオウンナ児童基金を手渡した。1999年2月23日、千種消防署新庁舎落成式記念に心肺蘇生用訓練人形を寄贈。6月の環境月間に環境教育用オリジナルパネルを千種区の小・中学校22校に贈呈した。2002年10月23日、創立20周年の記念事業では創立15周年より継続事業のタイ東北部の小中学校に教育環境改善活動(奨学金・給食支援・里親制度など)を行っているキャンヘルプタイランドを通じ、「国際貢献」としてタイのバン・ライサムシー学校に校舎を寄贈。2007年10月16日、創立25周年式典でも集合場兼食堂の建設資金の一部を寄付。現在も毎年クラブと有志にて継続。また、「地域社会への貢献」として東山植物園の万葉の道

に千種区の花であるアジサイを詠んだ歌碑を寄贈。「伝統文化への貢献」として能楽に対する支援をした。2005年11月8日と2006年5月20日に中部盲導犬スタッフと三越星ヶ丘店正面入り口にて募金活動をした。

特記すべき活動

2000年3月25、26日、第8回RYLAセミナーを愛知県美浜少年自然の家にて開催。2002年2月14日、IMを愛知厚生年金会館ホールにて開催、専門分野の方々による「千種」の魅力をトーク、青少年交換学生の進行でインターナショナルスクールの生徒たちと“私たちの夢”未来を語った。当クラブは家族の参加が多く、とてもアットホームであり、財団・青少年交換学生の派遣を受け入れ、米山の受け入れなど、活発である。



創立20周年式典会場名古屋能楽堂にて記念事業目録贈呈



2008年4月24、25日 春季家族会(奈良當麻寺にて)

名古屋昭和ロータリークラブ

創立	1992年5月14日	承認	1992年5月29日
チャーター ナイト	1992年6月30日	チャーター メンバー	65名
スponサー クラブ	名古屋東ロータリークラブ	分区	東名古屋分区
会員数	55名 (2008年6月末日現在)	例会日時	月曜日 12時30分～
例会場	名古屋東急ホテル 〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-8		
事務局	〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-5 丸越ビル6階 TEL: (052)241-7522 FAX: (052)241-7521 mail: nagoya-showarc1992@biscuit.ocn.ne.jp		

■進化の10年

クラブの歩み

名古屋の東部丘陵地帯、昭和区、千種区が主たる地域で、他都市と比べ水や緑の極めて少ない名古屋にあっては、比較的恵まれた環境のもとにあら文教地区である。クラブの平均年令は59才、活気と笑顔のあふれるアットホームなクラブである。名古屋東ロータリークラブにスponサーをしていただいて満15年となった2007年5月に盛大な記念式典を行った。

奉仕活動

当クラブは地元に根を下ろす活動として10巻に及ぶ「昭和区のマップ THE SHOWA」を作成し、市民区民に大変感動を与え重宝されている。さらに15周年記念事業として-都会に里山をつくる-「川名公園環境学習の森づくり」を会員、家族はもちろん、各種ボランティア団体とともに強力に推進し成果を上げている。森づくりに1番大切なこと

は「森を育てていく」という気持ちを心の中に育てることである。森づくりは大変時間がかかる仕事であっても10年、20年後の成長したこの森に素晴らしい思い出を残せるように行政および民間諸団体や「子供森づくり隊」とともにさらなる努力を続けていきたい。

特記事項

今年度のテーマは「一期一会 絆」である。今日の会合は再び帰らざることを思えば、実はこれ一生一度の会合といつても過言ではない。一回一回の例会を思い出に残る印象的なものにするため、卓話を重視している。現に今年度は日常生活に切実に関連する問題を提起した卓話が続き出席率も良好である。会員相互が毎週の例会を楽しみにして、温かく心を通わせることができれば、会員増強につながり、それこそがロータリーの至宝である。



名古屋錦ロータリークラブ

創立	1996年4月16日	承認	1996年4月23日
チャーター ナイト	1996年6月18日	チャーター メンバー	53名
スポンサー クラブ	名古屋名北ロータリークラブ	分区	東名古屋分区
会員数	37名(2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分~
例会場	名古屋ガーデンパレス 〒460-0003 名古屋市中区錦3-11-13		TEL: (052) 957-1022
事務局	〒460-0003 名古屋市中区錦3-10-28 第一錦エステードビル4階A号 URL: http://www7.ocn.ne.jp/~rcnisiki/	TEL: (052) 971-3005 FAX: (052) 971-3006	mail: n.s.k.rc@crux.ocn.ne.jp

■進化の10年

名古屋錦ロータリークラブは、1996年4月16日に名古屋名北ロータリークラブをスポンサーとして設立し、今年12周年を迎えた若いクラブである。歴史の浅いクラブだけに新しい発想で、クラブ運営と奉仕活動を行ってきた。

2006年創立10周年を迎える、「親睦」と「奉仕」という2つのロータリーの目的に沿って記念事業を行った。記念親睦事業として、米山梅吉記念館での記念例会を行い、各同好会合同の例会として親睦の実を上げることができた。記念奉仕事業としても、ロータリーの基本である、ロータリー財団、米山記念奨学会、世界社会奉仕委員会へ寄付をした。

また、我がクラブでは、環境問題を重要なテーマとして「次世代を担う子どもたちのために役立つことをしよう」という精神から子どもたちに自然の不思議さや偉しさ、生命の驚きを身をもって体験できるビオトープ（ギリシャ語で「生き物（ビオ）」の「場所（トポス）」という意味）づくりの支援を

続けてきた。

環境教育の一環としても、川中小学校（名古屋市）と下山小学校（岡崎市）との農業体験も行い、交流を深めている。岡崎市保久町（旧額田町）は、とても風光明美でササユリ、源氏ボタル、カブト虫などに触れることのできる自然の宝庫である。両校から引き続き実施してほしいとの要望もあり、今年5月12日、川中小学校4年生の約50名、そして下山小学校全校生徒36名、地元農家と父兄の皆様方と田植えを行い、親子でも体験してもらうことができた。

今後も環境問題を重要なテーマとして取り上げ、継続事業として農業交流体験（田植え、稲刈り）など環境先進クラブとしての実績を積み重ねていきたいと考えている。

我が名古屋錦ロータリークラブは15周年に向けての重点目標として、出席率100%目標と会員増強を実現して親睦と友情を高めたいと思う。



下山小学校隣の借受農地にて川中小学校・下山小学校合同の田植えの風景



初めて稲刈りを体験する子どもたち

名古屋東山ロータリークラブ

創立	1996年9月19日	承認	1996年10月10日
チャーター ナイト	1997年3月25日	チャーター メンバー	47名
スポンサー クラブ	名古屋和合ロータリークラブ	分区	東名古屋分区
会員数	50名(2008年6月末現在)	例会日時	木曜日 12時30分~
例会場	ホテルルブラン王山 〒464-0841 名古屋市千種区覚王山通8-18		TEL: (052) 762-3151
事務局	〒464-0841 名古屋市千種区覚王山通8-24 覚王山グランド井筒401号 TEL: (052) 762-3458 FAX: (052) 762-3484 URL: http://www.ocn.ne.jp/~naeastmt/		mail: nhr@gamma.ocn.ne.jp

■進化の10年

創立11年の名古屋東山ロータリークラブは、先輩RCをお手本に微力ながら奉仕活動を展開してきた。1998年の創立3年目から、ロータリー財団奨学生の受け入れ、派遣、そして米山奨学生の受け入れを開始。

1999年からは、地域への社会貢献へと踏みだし、社会福祉法人八事苑への車いすの寄贈、翌2000年には、アジア保健研修所（AHI）への支援、「豊ヶ岡学園」への図書寄贈、太陽光エネルギー発電研究への支援、子どもの虐待防止ネットワークあいちへの協賛・支援と、多くの新たな奉仕活動に取り組んだ。その結果、クラブ・社会・世界に対して9つの活動を行ったクラブに対して送られる「RI会長賞」を初めて受賞。

5周年を迎えた2001年には、愛知池へ会員数67本の桜を植樹。東郷町の3中学対抗レガッタ優勝旗の寄贈、使用済み切手の寄贈のほか、クラブ内奉仕も含め、大きく成長した年といえる。

2002年は、ロータリー財団ゾーン会議にて推奨されたポリオ・プラスへの1人150ドル寄付を会員

全員で実行。

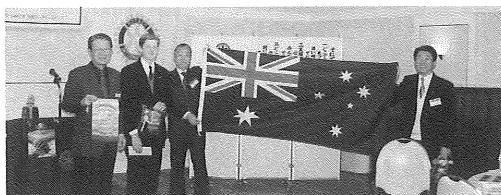
2003年は、青少年交換留学生の派遣と受け入れ、そして米山奨学生受け入れ、RI国際大会が大阪で行われるという国際交流の年となった。

2004年は、当クラブから初めてのガバナー補佐を出した年である。また、野々山会員が世界奉仕（WCS）活動としてフィリピンダバオ市へ小児歯科医療支援を行っており、以降継続事業としている。

2005年には、クラブの5周年事業として植えた愛知池の桜の一部を替え、物置を設置するなど、愛知池の桜は当クラブの社会奉仕活動のシンボルとなってきた。

2006年、10周年の節目を迎え、“守・破・離”をテーマに、名古屋東山RC独自の道を確立し、地元地域に根付いた奉仕活動を展開していくことを確認した。

2007年は、地区行事である1泊2日のRYLAセミナーのホストとなり1年がかりで準備した成果を上げることができた。また名古屋名城RACの主管RCも務め、青少年育成に貢献した年となった。



2003年 青少年交換学生受け入れと派遣



2007年 RYLAセミナー ホストRC

名古屋葵ロータリークラブ

創立	2005年5月23日	承認	2005年6月8日
チャーターナイト	2005年6月29日	チャーターメンバー	22名
スポンサークラブ	名古屋北ロータリークラブ	分区	東名古屋分区
会員数	29名(2008年6月末日現在)	例会日時	第1木曜日 19時00分~/第2~第5木曜日 7時30分~
例会場	カトリック布池教会内 聖ヨゼフ館 〒461-0004 名古屋市東区葵1-12-23		
事務局	〒462-0841 名古屋市北区黒川本通4-25 阿部建設株式会社内 TEL: (090)9355-9066 FAX: (03)5501-9796 URL: http://www.nagoya-aoi.com/ mail: rc@nagoya-aoi.com		

■進化の10年

我がクラブは、名古屋北ロータリークラブがロータリー100周年を祝い、ロータリーの新たな可能性を探求すべく創立した、特色の多いクラブである。チャーターメンバー全員が新入会員、会員の平均年齢は40歳、例会時間は早朝、事務局を持たない、WEEKLYや会員への連絡・例会出欠は全てメールとホームページなどのITを活用する、など地区内初の試みが満載されている。創立当初こそ不慣れで試行錯誤の繰り返しがあったが、浦野三男特別代表の献身的で継続的なロータリー教育により、会員におけるロータリー精神は飛躍的に高まり、今では行動力のあるクラブとして積極的に活動している。

常に会員個々がロータリーの理想を考えて行動する姿勢が養われたことで、わずか創立3年でクラブの特徴が形成されてきている。会員企業の見

学会を年に数回実施するなどして例会内容の充実に努め、会員の平均出席率が90%を越えることは当然ながらホームクラブの例会出席率が80%を越えること、直近2年は退会者が1人も出ていないことなどは特筆すべき点である。

また、会員の世代を反映し、CAPNA(子どもの虐待防止ネットワークあいち)の支援団体としての登録、例会に年3回の家族会を盛り込むなど、家族愛に重きを置いた活動も特徴である。それ以外にも、青少年育成を対象としたロータリープログラムである国際親善奨学生の派遣やローターアクトクラブの提唱などに伴う青少年教育・支援などに注力している。的を絞り込むことによって生まれる奥深い活動を根幹に据え、成長を目指しているクラブである。



GSEメンバーの受け入れ(2007年11月)



会員企業の職場見学例会(2008年5月)

豊橋ロータリークラブ

創立	1950年8月10日	承認	1950年8月26日
チャーター ナイト	1951年3月17日	チャーター メンバー	22名
スポンサー クラブ	名古屋ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	117名(2008年6月末日現在)	例会日時	木曜日 12時30分~
例会場	豊橋グランドホテル8階 〒440-0888 豊橋市駅前大通2-48		TEL: (0532)55-6221
事務局	〒440-0075 豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内 TEL: (0532)53-3774 FAX: (0532)56-6006 mail: info@toyohashi-rc.jp		

■進化の10年

1950年に創立した豊橋クラブは2000年に50周年を迎えた。50周年を記念して環境、青少年、文化をテーマにさまざまな事業を行った。主なものを見列挙する。

- ①児島虎次郎展 大原美術館の名品
- ②佐藤しのぶソプラノリサイタル
- ③ベルリン放送交響楽団演奏会
- ④地域環境フォーラム「持続可能な地域社会の実現に向けて」(TVにて全国放映)
- ⑤NPO支援や寄付など

この環境、青少年、文化はクラブの奉仕活動の中心思想であり、毎年、活動が行われている。例えば環境という側面では、クラブ単独でのWCS活動がある。「タイの焼畑農民に対する定住化への支援」は1998年より継続して行われ、会員も毎年視察に行くが、教育支援を含みながらも、土壤

を砂漠化から守るという環境保護が基本となる活動である。

そのほか、当クラブの提唱で誕生したローター・インター・アクト両クラブや国内外の恵まれない子どもたちへの支援など、多くの活動がある。

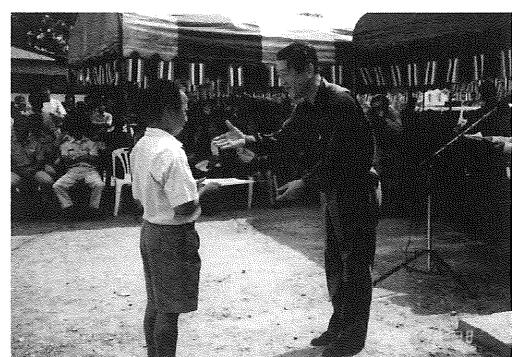
一方、クラブ奉仕では伝統的にGood meal, Good speech, Good atmosphereを掲げて、魅力ある例会運営と思いやりと効率の良いクラブ運営に努めている。

豊橋クラブは2年後に60周年を迎える。

故高沢隆パストガバナーの言葉「クラブにとって地区行事をはじめ、いろいろなイベントを行うことはクラブ活性化の最大の効用である」に従い、2009年には分区大会および地区大会のホストを務めることになっている。豊橋クラブはさらなる発展を期して活動を続けている。



2000～'01年度に開催した豊橋RC創立50周年記念式典



タイ国でのWCS活動

蒲郡ロータリークラブ

創立	1954年3月31日	承認	1954年4月22日
チャーター ナイト	1954年6月15日	チャーター メンバー	26名
スポンサー クラブ	豊橋ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	55名(2008年6月末日現在)	例会日時	金曜日 12時30分~
例会場	蒲郡プリンスホテル 〒443-0031 蒲郡市竹島町15-1		TEL: (0533)68-1111
事務局	〒443-0034 蒲郡市港町18-23 蒲郡商工会議所内 URL: http://www.gamagori.rc.jp		TEL: (0533)69-1020 FAX: (0533)69-2160 mail: gama_rc@sk.aitai.ne.jp

■進化の10年

当クラブは、蒲郡プリンスホテルで花鳥風月を楽しみながらの食事の後、例会が開かれる。

1. 國際奉仕活動委員会

1978年、台湾の基隆南RCと姉妹提携し、毎年4月、周年事業式典にメンバー10数人が参加している。日本語を話せる基隆南RC会員が減少して、交流が希薄になっているように思われる。

また、バングラデシュに中古ミシン、マレーシア・ペナンに車いす・透析医療機関にテレビなどを寄贈した。

2. 社会奉仕委員会

毎年5月頃、蒲郡市内を流れる西田川に県立三谷水産高校の生徒が育てたあゆの稚魚を、近くの小学生とともに放流している。毎年、児童たちは、

この行事を楽しみにしているようである。

3. 職業奉仕委員会

会員企業や親企業などを訪問し、会社・団体などの見学を行っている。

4. 新世代委員会

教育委員会の協力のもと、蒲郡市内20の小・中学校の児童・生徒に対し、体育優良成績表彰、皆勤賞表彰を実施している。毎年3月、ロータリアンが学校の式典に参加して表彰する。特に小学生の6年間の出席は難しく、この賞を励みに頑張っているようである。

5. 姉妹クラブ委員会

1985年、石川県の小松RCと姉妹クラブ締結をした。年に1度、定期的に相互交流を実施している。



健康児童・生徒表彰



稚あゆの放流

豊橋北ロータリークラブ

創立	1957年5月7日	承認	1957年5月20日
チャーター ナイト	1957年6月30日	チャーター メンバー	22名
スponサー クラブ	豊橋ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	87名(2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分~
例会場	豊橋グランドホテル 〒440-0888 豊橋市駅前大通2-48		TEL: (0532)55-6221
事務局	〒440-0075 豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内 URL: http://www.ty-n-rc.com/	TEL: (0532)53-1000 FAX: (0532)53-6447 mail: ty-n-rc@ty-n-rc.com	

■進化の10年

2007年5月に創立50周年記念式典を終えた。当クラブは設立以来の植樹本数が4,600本余りにおよび、市内のいたる所にその行跡を見ることができる。それはまさに現存の抱える環境問題を見通す先見の明と、豊かに緑あふれる豊橋の街を目指した会員の希望が重なり、現在、大樹は真夏の暑さから市民にひとときの憩いと涼を与え、次の世代を担う子どもたちに屋外での自然と触れ合う絶好の安らぎの場所を提供してきた。今も会員一人ひとりに植物を愛する気風は定着し、緑豊かな街づくりにひと役かっている。

ゴミゼロ運動発生の地として知られる豊橋も、そのもとをたどれば、東海のミニ尾瀬ともいわれる緑のスポット「葦毛湿原」を訪れるハイカーたちの捨てるゴミを見るに見かねて「せめて自分たちで出すゴミは自分たちで持ち帰ろうではないか」と提唱

していた豊橋山岳会に呼応して当クラブのチャーターメンバーの1人である故野沢東三郎氏が初代530運動推進連絡会に会長として就任してから、持ち前の情熱と実行力で全国的な広がりへと変貌を遂げた。故野沢東三郎氏の意志を継ぐ当クラブは、毎年5月30日に近い例会日に会員全員に呼びかけ、豊橋駅前を中心に清掃の奉仕を社会奉仕委員会担当例会として行っている。

今年初めての試みとして国際奉仕委員会によるマニラ市内のゴミの山、スマーキー・マウンテンの子どもたち500人に週一度、栄養補充のための給食を提供し、子どもたちの発育育成に貢献する成果を残すことができた。「ロータリーの友」に大きく取り上げられたので会員の皆様には承知のことと存じ上げる。



50年後、大木となり美しい地球を守る一助とならんことを!



うれしいことに年を重ねるごとにゴミの量が減っている

豊川ロータリークラブ

創立	1959年2月9日	承認	1959年3月12日
チャーター ナイト	1959年6月7日	チャーター メンバー	20名
スポンサー クラブ	豊橋北ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	68名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分～
例会場	豊川商工会議所 ※第2例会のみ東海カントリークラブ 〒442-8540 豊川市豊川町辺通4-4 ※〒442-0863 豊川市平尾町糠川11-31	TEL: (0533)86-4101 ※TEL: (0533)87-2101	
事務局	〒442-8540 豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 URL: http://www.toyokawa-rc.jp/	TEL: (0533)86-2100 FAX: (0533)86-8889 mail: tyrc@sala.or.jp	

■進化の10年

過去の10年間を振り返ると我が豊川ロータリークラブの特徴が見えてくる。何分にも、地域の特性や経済環境により、会員増強は思うように進まず、その中で地道に新世代への奉仕、国際奉仕に力を入れてきた。

新世代

①豊川高等学校インタークトクラブへの支援

1964年10月9日創立以来、生徒たちがボランティア活動を通してより多くの社会体験ができるることを目指して活動を支援してきた。インタークトクラブ海外派遣、インタークトクラブ協議会には毎年参加できるよう協力し、2005年7月18日には第16回地区インタークトクラブ協議会を豊川高等学校においてテーマ「虹～心の架け橋～」で開催した。



第13回RYLAセミナー開催(2004年11月27～28日)

②第13回地区ライラセミナーの開催

2004年11月27～28日、豊川閣妙厳寺においてテーマ「見つめなおそう マナーと言葉－大人の常識と若者の常識－」を主管した。

国際奉仕

姉妹結びをしている台湾岡山ロータリークラブ、韓国大邱達西ロータリークラブと相互訪問を重ねる中で友好を深めている。

特記すべき活動

2008～'09年度はいよいよ創立50周年、2009～'10年度には当クラブより2人目のガバナー(大澤輝秀)を擁立する。地区内会員の皆様のご指導をいただきながら、会員一同全力をあげて取り組んでいきたいと考えている。



第16回インタークトクラブ協議会開催(2005年7月18日)

田原ロータリークラブ

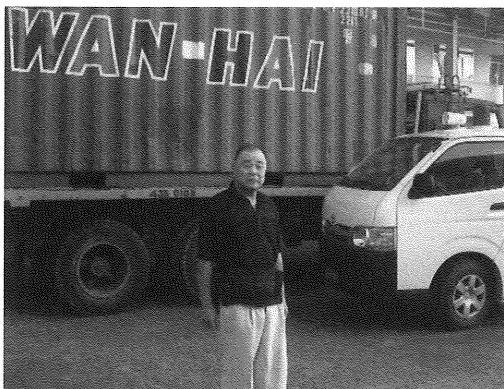
創立	1961年3月24日	承認	1961年4月20日
チャーター ナイト	1961年11月5日	チャーター メンバー	22名
スポンサー クラブ	豊橋ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	55名(2008年6月末日現在)	例会日時	金曜日 12時30分～
例会場	蒲郡信用金庫 田原支店3階 〒441-3421 田原市田原町稗田66		
事務局	〒441-3421 田原市田原町巴江12-1 華山会館内 TEL: (0531)22-1131 TEL: (0531)22-0831 FAX: (0531)23-1216		
	URL: http://www6.ocn.ne.jp/~tahararc/ mail: tahararc@cronos.ocn.ne.jp		

■進化の10年

田原クラブは地域に密着した奉仕活動を目標に活動を進めてきた。

1998年、「高校生との対話集会」で社会人としての心構えを説き、1999年、「チビッコ警察官の制服の贈呈」を行い、園児保護者への安全教育と、交通安全の啓蒙活動を実施した。2000～'01年は創立40周年記念事業として「地域シンポジウム」「小学生の合唱の夕べ」「ふれあい教室 by ドラゴンズ」を実施。同時に東三河IMのホストクラブを務めた。2001～'02年は、2,000回例会でボランティア団体の代表者を招待し、相互理解を深めた。また田原文化会館に、地区大会の開催会場である客船「飛鳥」の模型を贈呈した。2002～'03年には、田原警察署前に「ストップ。ザ交通事故」の大看板を寄贈。浜名湖花博で家族例会を開催。

2003～'04年、愛知万博会場での例会のほか、ロータリー100周年の記念例会を開催した。この年、例会で豊橋市民病院口腔外科部長山本忠医師のベトナムでの「口唇口蓋裂医療援助活動」の卓話が契機となり、クラブとしての援助を開始した。2004～'05年、創立45周年を迎えると同時に、「交通安全電光板」を国道沿いに設置した。ベトナム医療援助に対しトヨタ自動車株式会社による救急車と会員企業の援助の輸送コンテナの贈呈をした。2006～'07年、「ベトナム口唇口蓋裂医療援助」でガバナー賞を受賞。ボイスカウト田原第1団への資金援助を実施した。2007～'08年、たはら国際交流協会のベトナム視察団の一員として会員が医療現場を視察し、東三河IMで現地での活動を中心に報告した。



川本忠先生 トヨタ自動車と会員の寄付の救急車 輸送コンテナ

しかし、経験木本くわいと、自分の職業のことを
記憶されない僕の人生を苦しくしてしまった。
一番多いのは、日本で「人」の人生で、おおむね何年
かで死んでしまう。日本人の平均寿命は、
木本くわいが五十五歳。おおむねレバーハウスの人を
取り除いては、日本人の平均寿命は五十五歳。
「日本人の多くは、限界といつて死んでしまうので、何時何刻
死んでしまうのか、おおむね五十五歳で死んでしまう」と。
五年後は、先生が口頭で書類を書いていた所
を立ち直りながらお詫び。僕の聲音が生き残る人として
お詫びが出来なくて困りましたと。先生も、金事を
立てるつもりで書いていたので、先生が大変。
感謝ばかりです。

明日、先生が生徒の日曜日午後二時から下北
条先生は、僕は奥野駅附近一月生でありますと
お詫びをして、お手紙に入れておられた方の筆者を
お尋ねして、夜寝食を心配され、どう生きていいで
僕は困りました。口頭で書類の名條先生はまだお
みつけられません。先生がお手紙を来ましたとおっしゃ
る方へお詫びを致しました。午後二時から下北条
先生が午後四時まで。

先生がどうぞ、もう少し丁寧に書類を立てるとい
う立場の先生たちも、跡跡おれは、敵ではないけれど

手術を受けた患者からの手紙

豊橋南ロータリークラブ

創立	1966年4月4日	承認	1966年5月12日
チャーター ナイト	1966年6月21日	チャーター メンバー	21名
スポンサー クラブ	豊橋ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	62名(2008年6月末日現在)	例会日時	月曜日 12時30分～
例会場	ホテルアソシア豊橋 〒440-0075 豊橋市花田町西宿無番地		TEL: (0532)56-8888
事務局	〒440-0075 豊橋市花田町字石塚42-1 豊橋商工会議所内 TEL: (0532)55-9329 FAX: (0532)53-6447 mail: ty373-rc@arrow.ocn.ne.jp		

■進化の10年

豊橋南ロータリークラブは本年42年目を迎えるクラブである。創立10周年にフィリピンサンファンRCと、20周年には台北城北RCと姉妹提携を結んでいる。現在両国との関係は、それぞれの国内情勢やメンバーの変化により、新たなる局面を迎えつつ、友好を継続している。

また韓国とは30年ほど前に豊橋市のボイイスカウトに対して支援していたことを発端として、晋州市BSの援助関係を続ける中、当初は晋州市のRCとの交流も視野に入っていたが、RCとしてその地域の奉仕団体を支援しようという意図のもと、豊橋市と晋州市の教育関係者同士の交流を支援することになり、現在では豊橋市・晋州市教育委員会同士の姉妹提携に発展し、毎年両市の中学生

が相互訪問し合い、子どもたちによる日韓親善の実りを遂げている。

また青少年健全育成の一助として、豊橋市との共催事業で、本年29回目を迎えた豊橋南RC杯(豊橋少年柔道大会)と本年25回目を迎える「明るい家庭づくり推進大会」(家庭の様子を題材にした作文・壁新聞を対象とする)の共催事業を続けている。

豊橋南RCは老・壯・青の会員メンバーに恵まれ、それぞれがお互いを尊重し合い、退会者も少なく、会の運営もスムーズに行われている。

また地区推奨のCLPに基づく定款・細則の改正もすでに昨年度行い、スリムな委員会構成で、さまざまな事業に各委員会が取り組んでいる。



韓国慶尚大学校生歓迎例会(来日した慶尚大学校生)



明るい家庭づくり推進大会 授賞式

新城ロータリークラブ

創立	1967年4月28日	承認	1967年5月24日
チャーター ナイト	1968年4月14日	チャーター メンバー	22名
スポンサー クラブ	豊橋北ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	51名 (2008年6月末現在)	例会日時	金曜日 12時30分～
例会場	新城市商工会館3階 大会議室 〒441-1326 新城市字中野15-10		
事務局	〒441-1326 新城市字中野15-10 TEL: (0536) 23-2354 FAX: (0536) 23-4844 mail: shinshiro-rc@coda.ocn.ne.jp		

■進化の10年

私たち新城ロータリークラブは、本年で創立41周年を迎えた。チャーターメンバー22名で発足し、10年前には71名の会員がいたが現在は51名となっている。当クラブでは区切りの年度にはロータリー精神の奉仕の心を基本にそれぞれの年度に各地域に合った記念事業を展開してきた。30周年には新城市民病院の正面玄関前に噴水池を造り、訪れる市民の方々に安らぎの場として喜ばれている。また35周年には記念事業として旧鳳来町の鳳来寺山の麓に休憩所を造り、「参合の丘」と命名しハイキングに訪れた方に利用していただいている。そして昨年の40周年には、市内に新設される新城市消防防災センター内に「一筆啓上火の用心」を刻んだ石碑といわれを記した石碑の2基を建立し、市

民の意識向上に役立てばと思っている。また環境例会を毎年計画し今まで記念事業で建設した施設を会員全員で清掃、整備を行っている。記念事業としては、造るだけではなく、30周年には新世代の健全育成のため少年サッカー大会を計画実施した。継続を希望する声があり、小学生の部、中学生の部と分けて今でも継続している。年々参加希望するチームが増え、最近では県外からも参加していただいている。また本年は会員が立ち上げた「100万本の桜プロジェクト」に賛同し、10年間の継続事業として、市内各地で桜の木の植樹を続けている。数年後には新城市から桜の便りが届くことを願っている。当クラブでは会員の輪、和を重んじクラブ運営をしていきたいと思っている。



40周年記念事業で「一筆啓上火の用心」の石碑を建立



少年サッカー大会は今年で12年目を迎えた

渥美ロータリークラブ

創立	1969年4月21日	承認	1969年4月26日
チャーターナイト	1969年11月5日	チャーターメンバー	27名
スポンサークラブ	田原ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	36名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分～／第2水曜日 19時～
例会場	蒲郡信用金庫渥美支店2階 (第2例会のみ 伊良湖ガーデンホテル) 〒441-3617 田原市福江町堂前50-6		
事務局	〒441-3617 田原市福江町堂前50-6 蒲郡信用金庫渥美支店2階 TEL: (0531)33-0511 FAX: (0531)32-1251 URL: http://www15.ocn.ne.jp/~atsumirc/ mail: atsumi-rc@tees.jp		

■進化の10年

河津桜植樹記念事業

2004～'05年のロータリー100周年を記念して、街の中心部を流れる免々田川沿いに河津桜を植樹し、常春の里づくりを計画した。この計画には多くの市民の方々の参加をいただいた。

2005年3月の桜例会の折には大島パストガバナーにも御出席いただき、「一年の計は殻を樹うるに如く莫く、十年の計は木を樹うるに如く莫し、終身の計は人に樹うるに如く莫し」と中国の菅子の言葉を賜った。この言葉を胸に、歴代の会長はじめ会員たちが一丸となって桜の手入れに汗している。そして今では多くの市民が楽しんで花見ができるまでに成長している。

来年3月1日の創立40周年記念式典に向かって実行委員会を組織し、菜の花の植栽などさらなる環境美化を考えている。免々田川沿いの河津桜が多くの市民に愛される憩いと潤いのある場所になればと思っている。

米山奖学金受け入れ

当渥美ロータリークラブは渥美半島の先端に位



免々田川沿いの河津桜



置し、交通の便が悪いためか奖学金を受け入れたことがなかったが、このたび、愛知大学に在籍する、中国西安出身の馮薈留学生を初めて受け入れることになった(2006年4月～'08年3月)。

彼女の勉強熱心で素直な性格は会員との交流を和やかにし、会員の職場(農業、漁業、火力、風力発電などの産業見学)や家庭を訪問することによって、日本の風習や生活環境、宗教など多くのことを学ぶことができたと思う。

彼女の研究テーマは「西安における観光産業の現状と課題」であり、将来、観光産業の発展に尽力し、日中の交流を深めたいとの意欲を持っていた。

2007年9月、会員と家族20名が参加し、彼女の故郷西安を訪問した。この企画により、彼女の両親とも会い、日中友好のきっかけができた上、会員相互の親睦もより一層深まった。

例会・家族会なども彼女が加わることにより、今までとは少し違った雰囲気となり、クラブの国際感覚も磨かれたのではないかと思っている。



中国西安・兵馬俑



奥三河ロータリークラブ

創立	1970年5月16日	承認	1970年6月15日
チャーター ナイト	1971年6月6日	チャーター メンバー	24名
スポンサー クラブ	豊橋北ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	19名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分~
例会場	奥三河総合センター 〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字向木屋2-10		
事務局	〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字大田1-7 TEL: (0536)62-1221 FAX: (0536)62-1246 mail: okumikawa-rc@eos.ocn.ne.jp		

■進化の10年

奥三河ロータリークラブは、38年度を迎える。

その間10年・20年・30年と歩みを発行。記念事業を行う。

この地区も過疎化が進み、高齢化と重なり、会員数も創立時の3分の1になってしまった。

奉仕活動も創立時から530運動は続けている事業の1つである。

WCS活動・郡中学海外派遣協力・老人クラブゲートボール協賛・郡バレーボール大会協賛・中学剣道新人戦・子ども会ソフトボール大会協賛などが、毎年行う奉仕活動。

昨年度より「AED」の講習を、老人クラブの方々とともに受けている。

この講習はこれからも各地区を回り、初期の処置の大切さ、3分の間にできる命の尊さ、近隣との助け合いを伝えていけたらと考える。

現在環境に優しく「マイ箸運動」を展開している。例会時にはほとんどの会員が「マイ箸」を持参する。

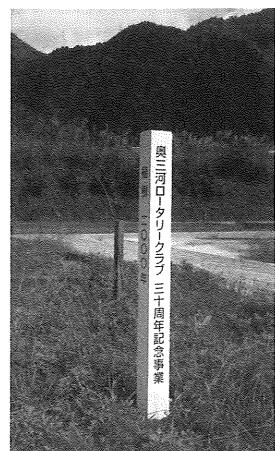
奥三河は山が多く、森林破壊が呼ばれる今、私たちは身を持って感じる事業である。

ダム建設も迫りつつある。先祖からの土地・建物が水の底になる。町が消える。水の大切さも訴えたいと考える。

少人数のため活動には限りがあるが、会員一同ロータリーの火を消さないよう、一生懸命ともし続ける決心である。



530例会



2000年度30周年記念事業
郡内に桜、もみじの苗木200本を植える

豊川宝飯ロータリークラブ

創立	1985年12月24日	承認	1986年1月21日
チャーター ナイト	1986年5月10日	チャーター メンバー	39名
スポンサー クラブ	豊川ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	54名(2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分~
例会場	豊川商工会議所 〒442-8540 豊川市豊川町辺通4-4		TEL: (0533)86-4101
事務局	〒442-8540 豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所3階	TEL: (0533)86-2535 FAX: (0533)86-8889	
	URL: http://toyokawahoi.tank.jp/index.html	mail: hoirc@sala.or.jp	

■進化の10年

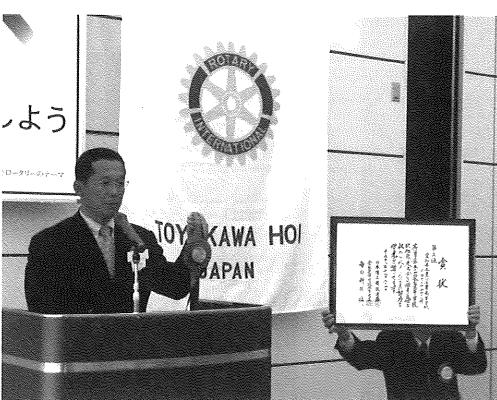
豊川宝飯ロータリークラブのこの10年間の主な活動は、青少年健全育成を中心とした活動を多く行った。

地元の愛知県立豊川工業高校ならびに豊川高等学校の全国高校駅伝大会に出場するにあたり応援募金を贈呈し、地元高校生が全国の舞台で頑張る姿に大変感銘を受けた。また子どもたちの音楽水準向上のための音楽会開催の協賛も行っている。そして地元高校生のボランティア活動を応援するために、連絡協議会を設立して交流会などを開催し、次代を担う青少年健全育成のための活動を広く行っている。

特に子どもたちを取り巻く住環境の改善が必要であると考え、子どもたちが普段過ごす教室の環境改善を考えて「教室の空気はビタミン材」事業を行った。

この事業は地区のロータリー財団補助金を受けて行った。地元東三河の杉の間伐材を、愛知県立豊川養護学校の教室の壁に貼り、木の香りとぬくもりで、子どもたちの心を和やかに、杉の自然の模様が右脳を活性化させる効果を発揮することを期待している。何よりも、この作業には、養護学校の生徒さん、教職員の皆さん、我々ロータリアンが協力しながら交流を深め合って作業ができたことが一番の収穫であったと思っている。

今後も青少年健全育成を中心とした活動を行っていくために、長期の継続事業を検討していくためのクラブ独自の委員会を立ち上げ、今後、豊川宝飯ロータリークラブとしてできる活動の模索検討を行っている。



豊川工業高校陸上部の全国大会3位入賞報告をする渡辺正昭監督



「教室の空気はビタミン材」事業の杉板貼り作業をする会員

豊橋ゴールデンロータリークラブ

創立	1988年10月28日	承認	1988年11月17日
チャーター ナイト	1989年3月19日	チャーター メンバー	45名
スポンサー クラブ	豊橋ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	60名(2008年6月末日現在)	例会日時	金曜日 12時30分~
例会場	ホテル日航豊橋 〒441-8061 豊橋市藤沢町141		
事務局	〒440-0075 豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内6階 TEL: (0532)53-3775 FAX: (0532)56-6006 URL: http://www.toyohashi-golden-rc.gr.jp mail: golden@toyohashi-golden-rc.gr.jp		

■進化の10年

1994年3月(14年前)に提唱した「高校生ボランティア・ハート・ネットワーク」は豊橋市内11校の高校のボランティア活動の支援を目的に、連絡協議会を発足させ発展してきた。その連絡協議会を1996年4月にRCCに移管し、「豊橋ゴールデンRCC」として我がクラブが支援を続けている。1999年3月には、この地方では初めての試みである、各校の高校生が主催、企画、運営した「高校生ボランティア交流会議」を開催、各高校の生徒、顧問教師が参加し、ボランティア活動を通じて感じていることなどの意見交換会を行った。2007年9月に地域の金融機関より、この「高校生ボランティア・ハート・ネットワーク」に対し、「地域貢献基金寄付金」をいただいた。このことは我がクラブが提唱した活動が広く地域社会に認められた結

果であり、「豊橋ゴールデンRCC」、各高校の顧問の先生方、そして何よりも高校生たちの活動ぶりが認められ、ロータリーらしい奉仕活動の実践プログラムとして誇りに思っている。

本年は「豊橋の街は人に優しいか?」をテーマに高校生自身が市街地、公共交通機関などを車椅子、視覚障害の方、高齢者の方の視点で体験や見聞をした。この活動を通じ、感じたこと、考えたことを報告書にまとめ、その報告書を市長に提出し、行政にも働きかけた。

昨年度は豊川市内の高校生からの要望により、豊川地区にも同様の活動組織が誕生した。今後は東三河全体に「高校生ボランティア・ハート・ネットワーク」の輪を広げ、さらに発展させたい。



高校生ボランティア・ハート・ネットワーク交流例会の集合写真



高校生による体験の様子

田原パシフィックロータリークラブ

創立	1990年7月24日	承認	1990年8月20日
チャーター ナイト	1991年3月23日	チャーター メンバー	41名
スポンサー クラブ	田原ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	66名(2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 19時00分～
例会場	華山会館 〒441-3421 田原市田原町巴江12-1		
事務局	〒441-3421 田原市田原町巴江12-1 TEL: (0531)22-1700 URL: http://www.pacific-rc.com/		
	TEL: (0531)22-5955 FAX: (0531)22-7120 mail: info@pacific-rc.com		

■進化の10年

この10年を振り返ると、各年度とも、奉仕活動には各々特徴ある活動を実施してきた。

1997度からはRYLAセミナーに2名の青少年を派遣し、各回とも受講生より有意義であったと好評を得ている。

親クラブの田原RCとの合同早朝例会として、地域内の「権現の森」での清掃奉仕作業会を実施したのもこの頃であった。青少年交換留学生として女子高校生をブラジルへ派遣したのに続いて、2年後女子高校生をカナダへ留学させてもらった。受け入れの方は、カナダより男子高校生、また2年後にカナダより女子高校生を受け入れた。ホストファミリーの方々には、大変お世話を掛け感謝この上ないものであった。また、田原福祉専門学校へのピアノなどの備品の寄贈、地域のお祭りに学生たちが楽しく参加できるように法被を贈呈し、学生

たちとの交流を行ったのもこの頃であった。市内のカーブミラー清掃例会を行い、雨天にもかかわらず会員の一一致協力の成果があった。

近年になって、青少年の擁護施設の「赤羽根学園」との交流事業を実施。太平洋海岸での地引網、バーベキュー、たこ揚げなどを楽しみ、海岸の清掃を行い、ボウリング、動物園で楽しんだ。福祉授産所、身心障害施設「蔵王の杜」との交流も続けてきたが、2007年度は交通安全グッズを警察署の協力を得て通行車両に配布したり、綱引き、ゲームなどで友情の輪を広げ、交流事業を実施した。このように各年度とも、担当者が視点を変え、新たな奉仕活動を実施してきたことにより、マンネリに陥らずに全員の協力を得て、友情と親睦を深め、新たな奉仕が生まれていくものと思っている。



DDF事業 赤羽根学園児童と地引網 (2006年8月26日)



“蔵王の杜、田原授産所との交流会” 綱引き (2008年4月8日)

豊橋東ロータリークラブ

創立	1996年1月24日	承認	1996年2月6日
チャーター ナイト	1996年4月8日	チャーター メンバー	32名
スポンサー クラブ	豊橋南ロータリークラブ	分区	東三河分区
会員数	40名(2008年6月末現在)	例会日時	水曜日 12時30分~
例会場	豊橋グランドホテル 〒440-0888 豊橋市駅前大通2-48		TEL: (0532)55-6221
事務局	〒440-0075 豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内 TEL: (0532)56-8566 FAX: (0532)53-6447 mail: ty-e-rc@arrow.ocn.ne.jp		

■進化の10年

豊橋東ロータリークラブは親クラブである豊橋南ロータリークラブ創立30周年を記念して、青少年を通じた国際奉仕の実践を目的に設立された。当クラブは、創立12年と若いクラブでもあり、会員拡大と創立の精神を堅持して活動している。

当クラブでは国際奉仕活動として、韓国ソウル市の中央大学校(日語日文学科)の学生2名を毎年1週間にわたり招待している。日本滞在中は、会員の家庭にホームステイし、会員が引率して豊橋を中心に近隣の史跡などを見学し、日本の文化を理解してもらっている。また、会員の家庭にホームステイすることで日本の暮らしを認識し、会員が終日引率することで、スキンシップを図ることで、次

代を担う青少年に、より日本を理解してもらい、国際親善を図っている。なお、3年ほど前から、韓国中央大学校訪問時に日本の文化について講演している。

創立10年を経過したことでもあり、現在社会奉仕活動にも力を傾注したく、クラブ内で検討している。数年前には豊橋がゴミ0運動発祥の地ということもあり、530運動を行ったが、单年度で終結してしまった。次年度において、継続可能な社会奉仕活動を策定するようになっている。

また、次年度はCLPを導入し、次代のクラブ運営と活動が円滑にできるよう進めている。



歓迎例会での韓国中央大学校の学生との記念品交換の様子



韓国中央大学校の学生が日本文化に触れる様子

岡崎ロータリークラブ

創立	1951年6月8日	承認	1951年6月18日
チャーター ナイト	1951年11月18日	チャーター メンバー	25名
スポンサー クラブ	豊橋ロータリークラブ	分区	西三河中分区
会員数	92名 (2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分～
例会場	岡崎出雲灘 〒444-0875 岡崎市竜美西2-2-7		
事務局	〒444-8611 岡崎市竜美南1-2 岡崎商工会議所5階 TEL: (0564) 55-0077 FAX: (0564) 55-0081 URL: http://www.okazaki-rc.org mail: rc-okazaki@gol.com		

■進化の10年

当クラブは本年57年目を迎え再来年には60周年を迎える歴史あるクラブとして公共的イメージ、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の各部門での活動が認められ55周年にR I会長賞を受賞し、毎年度進化している。

過去10年を振り返り51年目には当クラブより2001～'02年度ガバナーとして太田賢太郎君を輩出、本年度はガバナー補佐として杉浦壽康君を輩出した。2001～'02年度、2007～'08年度と西三河中分区IMのホストクラブとして実施した。また、地区行事にも積極的に参加している。

クラブ内では創立以来の合い言葉「和やかにして風格あるクラブ」を理想に掲げ、各年度会員相互通じて親睦を深める行事として、親睦旅行、RC、RAC、IAC親睦ボーリング大会、岡崎市内奉仕

団体13クラブの親睦ソフトボール大会、等々実施しており特に新世代(IAC、RAC)への支援には力を注いでいる。

国際奉仕事業としては米山奨学生・交換留学生・文化研修国際親善奨学生の受け入れ。また、2000年より岡崎RC奨学基金奨学生として来日していた韓吉松(ハンジソン)君が2005年名古屋大学大学院工学部博士号を授与された。社会奉仕事業としては創立50周年年度に、地域社会貢献として『教育推進助成金』を寄付、不登校対策のための「教育事業助成金」、国際理解教育推進事業の一環として「岡崎中学生英語スピーチフェスティバル」、岡崎市内18の中学校に「安全・安心・推進事業資金」を贈呈、社会奉仕としてそれぞれに協力してきた。



創立55周年記念例会



R財団、岡崎奨学基金活動記事

豊田ロータリークラブ

創立	1960年10月28日	承認	1961年1月24日
チャーター ナイト	1961年4月8日	チャーター メンバー	23名
スポンサー クラブ	岡崎ロータリークラブ	分区	西三河中分区
会員数	83名(2008年6月末現在)	例会日時	木曜日 12時30分~
例会場	ホテルトヨタキャッスル 〒471-0027 豊田市喜多町2-160		TEL: (0565)31-2211
事務局	〒471-0034 豊田市小坂本町1-4-12		TEL: (0565)32-5555 FAX: (0565)32-5559
	URL: http://www.toyotarc.jp		mail: office@toyotarc.jp

■進化の10年

「孫への手紙」心の事業

2002年5月に豊田ロータリークラブ社会奉仕委員会を中心に第1回目の「21世紀を担う子供たちのために」をテーマに「孫への手紙」事業が開催された。そして、地域の方たちからの好評なお声をいただき、4年後の2006年5月に今回さらに事業を広げ、豊田RC、豊田西RC、豊田東RC、豊田三好RC、豊田中RCの5RCの合同事業として実施された。

日本人の素晴らしい心を未来の子どもたちに伝えようと、「孫への手紙」という形で幅広く豊田市域の人々に、原稿を募集し「孫に心の大切さを訴えた手紙」や「心身ともに丈夫で育ってほしいとの願いを込めたもの」など次世代を担う子どもたちへの愛情あふれる作品が多数寄せられ、優秀な作品の紹介と表彰式が行われた。また、作品小冊子は、市内小中学校や公的施設などに寄贈された。



『孫への手紙』表彰式の模様

「インターラクト事業への協力」

高校生を対象に、奉仕活動の実践と国際理解および国際親善を推進する機会を提供する活動の1つにインターラクト事業があり、現在20万人を超す会員が活動している。豊田市域地区では、豊田ロータリークラブの「インターラクト事業」として、豊田工業高等専門学校がこの事業に参加している。主な事業としては、豊田市内の梅ヶ丘学園での毎年継続的なボランティア活動の実践や、年1回の海外研修事業にも参加をしている。海外研修をはじめとする1年間の活動内容の報告ということで、毎年10月のクラブフォーラムにて報告会が開催され、当クラブの会員面々とのコミュニケーションの場にもなっている。

2006年7月には、第17回インターラクトクラブ協議会が開催され、ホストクラブとして務めさせていただき盛大に開催することができた。



第17回インターラクトクラブ協議会

岡崎南ロータリークラブ

創立	1964年5月8日	承認	1964年11月12日
チャーター ナイト	1965年4月25日	チャーター メンバー	36名
スポンサー クラブ	岡崎ロータリークラブ	分区	西三河中分区
会員数	93名(2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分~
例会場	岡崎出雲殿 〒444-0875 岡崎市竜美西2-2-7		TEL: (0564)51-1100
事務局	〒444-0858 岡崎市上六名3-10-13 グリーンスポーツゴルフ内 URL: http://www.okazakiminamirc.com	TEL: (0564)58-6663 FAX: (0564)58-6673 mail: okazakiminamirc@gol.com	

■進化の10年

楽しく有意義な例会、旅行・クリスマス家族会、クラブ内外への広報活動などのクラブ奉仕活動、また、職場訪問による職業奉仕活動、財団・米山奨学生や青少年交換学生の受け入れ・派遣などの国際奉仕活動、IAC・RACの提唱などの新世代奉仕活動と、我がクラブは広範にわたる奉仕活動を年々展開している。それらの諸事業に加えて、我がクラブ独自の特色ある奉仕活動を以下に紹介する。

岡崎三研究所との交流活動 市内にある自然科学研究機構に勤務する国内外の研究者やその家族を対象としたバーベキューパーティー・もちつき会の開催、研究所を会場とした国研例会、市内理科教諭向けに年3回開講する国研セミナーの支援、英語版岡崎市ガイドブックの発刊配付などのさまざまな奉仕活動を維持している。2001年11月には、

文部科学大臣表彰の栄を受けた。

韓国慶州ナザレ園の支援活動 毎年、韓国残留日本婦人保護施設「ナザレ園」へ、高齢の日本人老女たちの慰問と財政支援に訪れている。

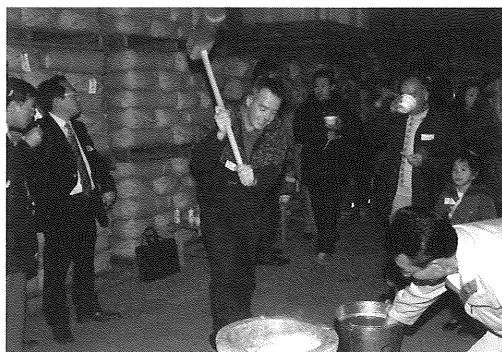
姉妹クラブ「ニューポートバルボアRC」との交流活動 24年前の姉妹提携調印より今日まで毎年人的交流が続く。我がクラブの積極的な交流活動が、両市の姉妹都市提携の礎となった。

ホタル育成の支援活動 「生田ボタル」の育成と、校区を流れる川の水質浄化に取り組む美合小学校への支援とホタル例会の開催で環境問題を捉ってきた。

青少年の体育振興支援活動 1985年、会員の寄付で設立された「岡崎南RC青少年体育振興基金」の運営管理を通じて、若人の健全な成長に貢献している。



米国ニューポートバルボアRCとの姉妹クラブ提携20周年調印式



新聞報道された岡崎三研究所交流事業「もちつき会」

豊田西ロータリークラブ

創立	1970年8月24日	承認	1970年9月1日
チャーター ナイト	1971年4月29日	チャーター メンバー	29名
スポンサー クラブ	豊田ロータリークラブ	分区	西三河中分区
会員数	102名(2008年6月末日現在)	例会日時	月曜日 12時30分～
例会場	名鉄トヨタホテル 〒471-0027 豊田市喜多町1-140		
事務局	〒471-0027 豊田市喜多町1-140 名鉄トヨタホテル6階 TEL: (0565)33-1717 FAX: (0565)33-6331 URL: http://www.tw-rc.jp mail: tw-rc@star.ocn.ne.jp		

■進化の10年

社会奉仕活動

財団法人豊田市国際交流協会への外国人の日本語学習のための図書購入資金を寄付(ロータリー文庫の設置)。

国際奉仕活動

ベトナム・ホーチミン市のタン・チュウ小学校へ、英語教材など800冊の図書の寄贈を行った。

今後のベトナムへの国際奉仕活動へ向けて現地調査を行った。

創立30周年を2000年8月20日記念式典を開催し、記念事業として豊田市に身体障害者への研修用パソコンと図書(110万円)、とよた光の里への事業資金(50万円)、自然災害により大きなダメージを受けた、トルコ大震災義援金・台湾大震災義援・北海道有珠山義援金(200万円)、米山

記念奨学会(100万円)、アステ(財団法人 勤労福祉センター「憩いの家」ケナフ・プロジェクト(10万円)の事業を行った。

地区協議会

1998年5月23日に豊田市民文化会館・豊田産業文化センターにおいてホストクラブとして開催した。

IM

1999年2月27日にホテルフォレスタにおいてホストクラブとして開催した。

2007年3月3日に名鉄トヨタホテルにおいてホストクラブとして開催した。

地区大会

2005年10月22～23日にホテルフォレスタ・豊田スタジアムにおいてホストクラブとして開催した。



ベトナム・ホーチミン市タン・チュウ小学校へ図書寄贈のため訪問



子どもたちとの交流風景

岡崎東ロータリークラブ

創立	1973年4月20日	承認	1973年5月2日
チャーター ナイト	1974年5月3日	チャーター メンバー	26名
スポンサー クラブ	岡崎ロータリークラブ	分区	西三河中分区
会員数	63名(2008年6月末日現在)	例会日時	木曜日 12時30分~
例会場	岡崎市竜美丘会館 〒444-0864 岡崎市東明大寺町5-1		
事務局	〒444-0864 岡崎市明大寺町字荒井33-1 グリーンヒルズ明大寺102号 TEL: (0564)23-3065 FAX: (0564)26-2085 URL: http://www.okazakieast@rotary.org mail: okzk-erc@cello.ocn.ne.jp		

■進化の10年

私たち岡崎東ロータリークラブは、社会奉仕委員会では、環境保全に力を入れている。19年前より、岡崎市立河合中学校の生徒が行っている「ゲンジボタル保護育成活動」に協力し、毎年4月に行われるゲンジボタル幼虫の放流式には、会長、幹事をはじめとして多くの会員が出席するように努めている。また13年前より、岡崎市立形埜小学校の児童が行う「水質保全活動」にも協力しており、学芸会に参加し、そのとき児童が発表する水質保全活動も興味深く、感心させられながら聞いている。

RCCでは、「岡崎少年野球サークル」に協力し、1998年より毎年11月3日に安城ロータリークラブと合同で、安城少年野球チームと岡崎少年野球

チームで試合を行っている。また、日本の雅楽の伝統文化を継承しようと努力されている「長瀬楽人会」に対しても、2001年より助成を行っている。

国際奉仕委員会では、地球の肺といわれているアマゾンの森林を守ろうとしている「アマゾン森林保護植林協会」に助成を行って8年になろうとしている。一度、岡崎東ロータリークラブの木々を見に行きたいと思っている。

新世代委員会では、光ヶ丘女子高等学校インタークトクラブ設立15周年を迎えることができた。光ヶ丘女子高等学校の立派な校風を踏まえて、活発な奉仕活動を展開している。また、海外研修派遣の報告会も楽しく聞かせていただいている。



河合中学校の生徒がホタルの幼虫を世話をしている



アマゾンの植林。岡崎東RCの植林区、チーク樹

豊田東ロータリークラブ

創立	1980年5月7日	承認	1980年6月1日
チャーター ナイト	1981年4月5日	チャーター メンバー	44名
スポンサー クラブ	豊田ロータリークラブ	分区	西三河中分区
会員数	80名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分～
例会場	ホテルトヨタキャッスル 〒471-0027 豊田市喜多町2-160		
事務局	〒471-0027 豊田市喜多町2-160 ホテルトヨタキャッスル8階 TEL: (0565)34-4333 FAX: (0565)34-4381		
	URL: http://www.toyota-e-rc.org/ mail: info@toyota-e-rc.org		

■進化の10年

豊田市区域で3番目のロータリークラブとして発足、以来28年経過。

1999－'00年度 5月創立20周年記念式典を開催し次の事業を実施した。

・拡大事業(豊田中RC誕生)・車いす30台を寄贈し円滑な利用システムの構築・R I 第2720地区本渡RC(熊本)と友好クラブ締結・地元テレビ局と福祉にかかる広報番組制作の助成・米山記念奨学会20万円寄付・ロータリー財団2,000ドル寄付・記念誌発行

2000－'01年度 米山奨学生派遣および受け入れ

2001－'02年度 青少年交換学生受け入れ

2003－'04年度 R財団国際親善奨学生スポンサークラブとなる

2004－'05年度 ・ガバナー補佐3人目を輩出・祝R I 創立100周年例会・創立25周年に記念冊誌発行・鈴木正三(日本で初めて職業倫理を説いた豊田市出身の偉人)没後350年記念事業実行委員会50万円寄付



豊田東ロータリークラブ杯争奪軟式少年野球大会(45チーム参加)

2005－'06年度 ・愛・地球博の支援と協力・豊田5RC合同事業「孫への手紙」の実施

2006－'07年度 ・11月例会場、事務局の移転(ホテル新築移転のため)・5月開催の地区協議会ホストクラブを務める・豊田広域RAC結成(豊田5RC提唱)

2007－'08年度 ・クラブの活性化を図るためにCLPの一部導入(クラブ細則と内規および組織表の変更)・米山奨学生の受け入れ

継続事業 ・交換学生の集い(23回)・青少年の主張発表(17回)・豊田東RC杯争奪軟式少年野球大会主催(14回)・クリスマス家族例会(28回)・一泊家族例会(24回)

同好会 ゴルフ、野球、カラオケ、デジカメなど
※来る2010年に創立30周年を迎えるための準備委員会を設立、全会員の創意工夫による諸事業を推進し地域に一層信頼されるロータリークラブを目指す。



交換学生の集い(地元中学生との交流)

岡崎城南ロータリークラブ

創立	1989年3月7日	承認	1989年3月22日
チャーター ナイト	1989年11月7日	チャーター メンバー	51名
スポンサー クラブ	岡崎城南ロータリークラブ	分区	西三河中分区
会員数	76名 (2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 18時30分～
例会場	岡崎ニューグランドホテル 〒444-0052 岡崎市康生町515-33		TEL: (0564) 21-5111
事務局	〒444-0052 岡崎市康生町515-33		TEL: (0564) 26-2666 FAX: (0564) 26-2667
	URL: http://okazaki-johnan-rc.net/		mail: info@okazaki-johnan-rc.net

■進化の10年

10年目を迎える

ミャンマー教育支援プログラムについて

1997年、当クラブは米山奨学生として、ミャンマーからキョウーキョー・モー君を受け入れた。このモー君の帰国を機に、当時の国際奉仕委員会がミャンマーを訪問、ミャンマーの劣悪な教育環境を知ることとなった。その後、モー君の協力を得ながら当クラブの独自のWCS活動が始まった。

第1回目は、現地の要望に基づき、1999年1月に訪問。ヤンゴン、アーロン第5高校への教育環境整備で高校への進入道路整備事業となった。その後、2007年までに、マグエ、シュエボ地区など9回の現地訪問を実地、5つの図書館の建設、給排水設備、校舎の整備補修、学用品の寄付な

どを行っている。また、当クラブ有志による医学奨学生制度も設立され、そのうち今年度は2名の学生が卒業、医師となり、地域医療に携わる。

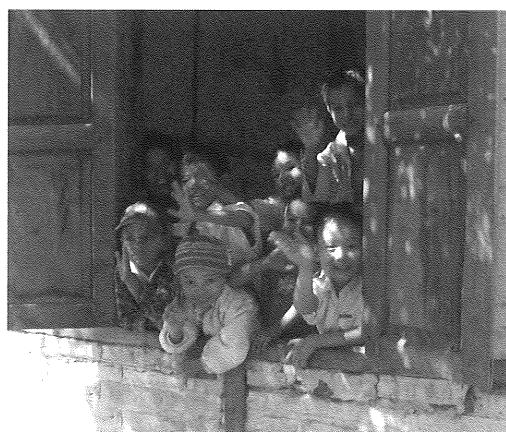
残念ながら、今年度は、ミャンマーの民主化要求デモの影響で、訪問の中止を余儀なくされた。しかし、当初の計画通りシュエボ小中高併設校に通学路と排水設備工事を現地の協力を得て実地し、過日その報告書、礼状や写真が届いた。

He Profit Most Who Serve Best.

ミャンマーでの当クラブのMost Profitは、たくさんの子どもたちの笑顔、現地の先生や協力者の笑顔だ。岡崎城南ロータリークラブは今後も、皆の笑顔のために活動を続ける。



マグエ小中高併設校の図書館



ミャンマーの子どもたち

豊田三好ロータリークラブ

創立	1990年5月28日	承認	1990年6月19日
チャーター ナイト	1990年10月18日	チャーター メンバー	26名
スポンサー クラブ	豊田西ロータリークラブ	分区	西三河中分区
会員数	21名(2008年6月末日現在)	例会日時	月曜日 19時15分~
例会場	保田ヶ池センター 〒470-0224 西加茂郡三好町大字三好字大慈山2-11		
事務局	〒470-0224 西加茂郡三好町大字三好字大慈山2-11 TEL: (0561)34-2251 FAX: (0561)34-5477 mail: tmrotary@hm4.aitai.ne.jp		

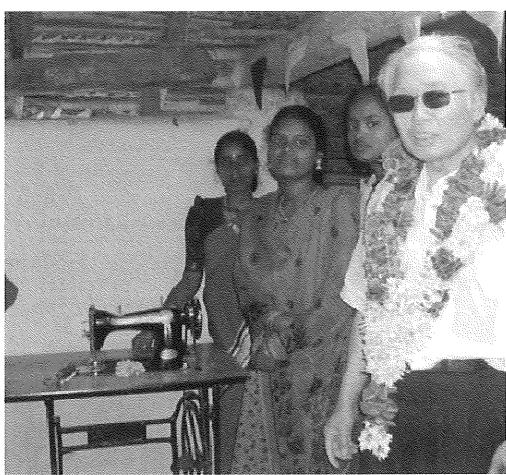
■進化の10年

当クラブのこの10年は、小クラブである上に会員数が28名から21名に減った。しかし、ベネファクターは5名増など財団に対する1名当たりの意識は高い。また、1999年度には当分区において最初の女性会員が入会した。奉仕活動においても親睦例会は家族同伴例会が多く、1999年度には会報をパソコンにて自主制作した。職業奉仕は2004年度、土屋亮平パストガバナーを講師として近隣クラブと例会を行った。社会奉仕は、三好町文庫の寄贈、授産施設あゆみ祭の後援、障害者の和太鼓の支援などを行った。国際奉仕は1998年度にはウルグアイに消防車を寄贈、2002年度よりインドの貧困層の職業発達プログラムを行った。

青少年活動は2007年度より豊田5RC広域RAに参加している。



社会福祉法人あゆみ会後援



インド貧困層に対する援助



ウルグアイ消防車寄贈

豊田中ロータリークラブ

創立	2000年2月25日	承認	2000年3月8日
チャーター ナイト	2000年6月23日	チャーター メンバー	53名
スポンサー クラブ	豊田東ロータリークラブ	分区	西三河中分区
会員数	47名(2008年6月末日現在)	例会日時	金曜日 12時30分~
例会場	ホテルトヨタキャスル 〒471-0027 豊田市喜多町2-160		
事務局	〒471-0027 豊田市喜多町2-160 ホテルトヨタキャスル9階 TEL: (0565)36-0057 FAX: (0565)36-0067 URL: http://www.toyota-naka-rc.jimusho.jp/ mail: t-nakarc@leaf.ocn.ne.jp		

■進化の10年

2002年から昨年度まで「社会を明るくする運動」を6年間実践してきが、今まででは協賛、寄付にしかすぎなかった。

本年度は地元社会のニーズに応えるものとして、想像上ではなく現実的で真の問題に応えられるよう、会員一人ひとりが意識を高められるような参加型の社会奉仕事業を実践。

今年度は豊田市の学生による地域活動サークル「学生プロジェクト」とともに「バザーと子供たちと遊ぼう!」を行い、次世代のために子どもたちを集め、昔ながらの遊びや新しい遊びを教え、自然や友達と身体を動かして遊ぶことの大切さ、楽しさを学ばせるとともに地域の活性化を目的として12月に開催。

また、彼らたちの活動資金を援助する目的で、ロータリーメンバーから家庭雑貨、食品、ゴルフ用品などを集め、一般市民を対象にバザーを同時に開催し収益を学生プロジェクトに全額寄付した。一般の方々にもバザーの品を格安価格で提供できたことやメンバーの家庭や会社の品をリサイクルすることで環境問題にも取り組むことができ社会奉仕につながったと思う。

今後、RCが地域に密着した奉仕活動をし、地域住民の方々に認知できれば良いと考える。

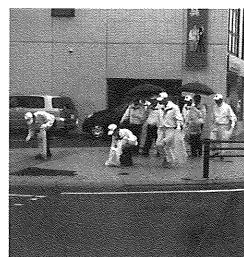
我が豊田中RCの環境保全委員会による地域奉仕活動として「530(ゴミゼロ)運動」による環境

美化活動を2003年度から継続事業として行っている。当初は豊田市中心部を流れる矢作川の河川敷きを、豊田市をはじめとして市内の各企業および団体により大規模なクリーン活動に参加し、家庭ゴミや金属くず、タイヤなど大量のゴミを拾うことで河川の水質浄化と景観美化に協力をした。その後、豊田市駅前よりトヨタスタジアムまでの沿道のゴミ拾いとして昨年まで実施してきた。

この「第2760地区統一クリーンキャンペーン」による取り組みの輪をさらに拡大するとともに粘り強く継続することで、身近なところからゴミをなくし快適な住環境を実現できることを願い本年も実施する。我々総勢50名足らずの活動だが、地元メディアの広報による支援を受け、徐々に地域に認知されてきた。530運動の基本精神は「自分のゴミは自分で持ち帰ろう」である。他人が捨てたゴミを拾うのではなく、「捨てる必要のない環境にしよう」を合言葉に今後も取り組んでいく。



多くの来場者でにぎわっている会場風景



豊田市駅前よりトヨタスタジアムまでの沿道沿いのゴミ拾いの風景

刈谷ロータリークラブ

創立	1954年3月8日	承認	1954年3月30日
チャーター ナイト	1954年10月23日	チャーター メンバー	24名
スポンサー クラブ	名古屋ロータリークラブ	分区	西三河分区
会員数	93名(2008年6月末日現在)	例会日時	月曜日 12時30分～
例会場	刈谷商工会議所2階 〒448-0843 刈谷市新栄町3-26		TEL: (0566)22-2111
事務局	〒448-0843 刈谷市新栄町3-26 刈谷商工会議所3階 TEL: (0566)22-2111 FAX: (0566)25-2111 URL: http://www.kariya-rotary.com mail: kariyarc@katch.ne.jp		

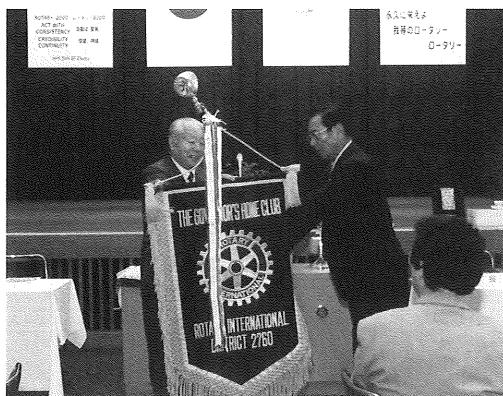
■進化の10年

当クラブのこの10年間での一番のトピックスは、クラブ設立以来初めてのガバナー輩出である。1999～'00年度野村重彦がガバナーを輩出し、内藤耕造地区幹事はじめ地区スタッフを多数出向させ、1年間地区運営を担当させていただいた。これにより、その後当クラブからの地区出向者は増加し、地区情報のクラブへの伝達ならびに、地区方針を踏まえたクラブ運営ができていると思う。一例として、1人100ドルの年次寄付目標に対しても会員の意識も高く、例年目標を大きく上回っている。

もう1つのトピックスとしては、やはりクラブ設立以来初の女性会員の入会である。2006年4月に2名、7月に2名の計4名が相次いで入会した。女性入会前は多少なりとも抵抗のあった既存会員も、入会後は全く抵抗なく受け入れ、入会した女

性会員も積極的にクラブ行事に参加され、当クラブに新しい風を吹き込んでいる。

奉仕活動としては、1994～'95年度から継続してきたWCSが当年度終結した。フィリピンのドリアンシティ(ダバオ)RCとのニームツリーの植樹による緑化などのプロジェクトを13年間継続し、大きな成果を収めることができた。先方クラブから、一定の役割を終えたことで本年度でこのプロジェクトは終結することになったが、地域の住民や行政からも高い評価を受け、当クラブ会員の7名がダバオ市の名誉市民に認定されている。また、このプロジェクトを通じて約20万本の植樹が行われたが、今日地球全体の問題になっている温暖化防止の一助ともなっていると思う。



ガバナーズホームクラブバナーを受け取る平野和一第46代会長



WCSでニームツリーの植樹をする両クラブの会員たち

安城ロータリークラブ

創立	1958年1月10日	承認	1958年2月6日
チャーターナイト	1958年8月6日	チャーティングメンバー	23名
スポンサークラブ	岡崎ロータリークラブ	分区	西三河分区
会員数	59名(2008年6月末日現在)	例会日時	金曜日 12時30分～
例会場	碧海信用金庫本店3階 〒446-8686 安城市御幸本町15-1		
事務局	〒446-8686 安城市御幸本町15-1 TEL: (0566)75-8866 FAX: (0566)74-5678 mail: anjo-rc19580206@katch.ne.jp		

■進化の10年

クラブの特色

安城市は愛知県のほぼ中央に位置し、早くから明治用水の恵みを受け、先進的な農業地帯として発展、その後も自動車関連企業などの誘致による工業の振興、新しい街づくりとともに商業の進展が図られ、新幹線三河安城駅の開業、産業文化公園デンパークの開園など西三河の中核都市として発展している。

奉仕の歩み

安城クラブは、クラブ設立当初から、市内小中学校への教育施設・器具の寄贈、福祉施設の慰問・寄贈を続けている。40周年には、デンパークへ木製人形を贈り、本年度50周年には堀内公園にサイクルポートと自転車5台を寄贈した。

特記すべき活動

2002～'03年度にガバナー補佐を輩出し、同年度にIMを開催した。



50周年記念事業としてサイクルポートと自転車5台を寄贈

油が渾浄化活動は、地元の明祥中学校とともに長い間取り組んできた。また、安城学園高校インター アクトクラブの支援活動は既に30年の歴史を刻むものである。

さらに、40周年には、安城ロータリー地域共同隊(安城少年野球サークル)を立ち上げ、以後、その活動を支援している。

本年度50周年を迎える、その記念事業としてこれまでのような物品の寄贈だけではなく、安城市に対して「生きがい日本一の都市づくり提案」として、「ループ式サイクリングロード」、「サルビア日本庭園」、「人生を楽しむ元気なシルバータウン構想」の3つの提案を行ったことはロータリークラブがハードだけではなくソフトの面でも地域社会に貢献できることを示す良い機会になったものと考える。



50周年記念事業として商店街にサルビアの苗を植栽

西尾ロータリークラブ

創立	1958年5月6日	承認	1958年6月13日
チャーター ナイト	1959年3月15日	チャーター メンバー	34名
スポンサー クラブ	蒲郡ロータリークラブ	分区	西三河分区
会員数	76名 (2008年6月末現在)	例会日時	火曜日 12時30分～
例会場	ロイヤルスクエア平安殿 〒445-0062 西尾市丁田町1		TEL: (0563)54-5522
事務局	〒445-0854 西尾市永楽町3-45 西尾信用金庫中央支店204 URL: http://www.nishio-rotary.org/	TEL: (0563)54-7770 FAX: (0563)54-7050 mail: club@nishio-rotary.org	

■進化の10年

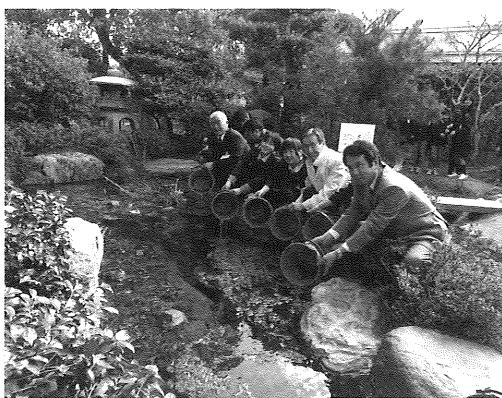
過去10年間の西尾クラブの活動内容

- ①社会奉仕、青少年活動合同で重度の障害を持つ2人の詩と文を編集し、小冊子にて発行、地元の各小学校に配り、障害を持つ方への理解と思いやりの心を育てた。
- ②聴覚障害者助成金を贈り、援助した。
- ③スウェーデンGSEメンバー受け入れ。
- ④韓国へ団長およびGSEメンバーを送り出す。同年度IMを開催した。ゼロエミッションという環境問題をテーマにした。手作りで、使い捨て容器を使わず、ゴミを出さない懇親会とした。
- ⑤中国から米山奨学生、オーストラリアから青少年交換学生を受け入れ、国際親善を果たした。
- ⑥地元高校生と合同で万燈山に植樹した。
- ⑦ホストクラブとして地区協議会をウェスティンナゴ

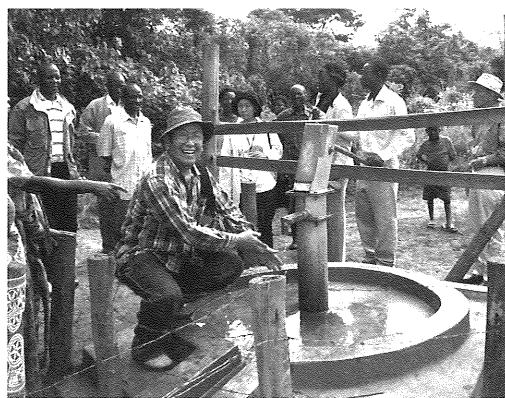
ヤキャッスルホテルにて開催した。

- ⑧地区補助金を使い、水をテーマに地元小学校へ井戸とビオトープを作り、会員が飼育しためだかの放流をした。命の尊さを小学生に教えた。
- ⑨みどり川クリーン作戦に参加。アフリカ・ウガンダへ井戸を寄贈した。安全な水を供給する事は健康のみでなく、子どもの仕事である遠くの川からの水運びを解放し、勉強する時間を子どもたちに与え、識字率の向上をもたらす。
- ⑩創立50周年記念式典を迎え、岩瀬文庫のある西尾市立図書館に学童向け図書を寄贈した。

西尾クラブ独自の活動としては47年間続く高校生奨学金制度があり、将来有望な人材を育ててきた。今後も地域の文化的レベルをさらに向上させたい。



矢田小にビオトープ・井戸とあすなろ池を造り、めだかを放流した



アフリカ・ウガンダに井戸を贈呈した

碧南ロータリークラブ

創立	1959年3月5日	承認	1959年4月8日
チャーターナイト	1959年9月27日	チャーターメンバー	24名
スポンサークラブ	刈谷ロータリークラブ	分区	西三河分区
会員数	78名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分~
例会場	碧南商工会議所2階 〒447-8501 碧南市源氏神明町90		
事務局	〒447-8501 碧南市源氏神明町90 TEL: (0566) 41-1100 FAX: (0566) 48-1100 URL: http://www.hekinan-rc.jp/ mail: info@hekinan-rc.jp		

■進化の10年

1959年に刈谷RC(林虎雄特別代表)をスポンサーとして設立し、9月27日、あの伊勢湾台風の翌日に認証状伝達式を挙行、平岩慶一初代会長をはじめ24名のチャーターメンバーでスタートした。爾来、先人の足跡を大切に温和な地域社会に根付いた活動を展開し、全員相互に思いやりと心配りがあり和気あいあいの雰囲気で推移し次年度は創立50周年を迎える。

創立40周年記念事業として市役所玄関ホールに山本眞輔作彫刻「すばらしき日々」を寄贈。45周年には市図書館にポルトガル語原著の書籍を寄贈。一方、創立以来の緑化事業として、市内公園・学校にとりわけロータリーの森への植樹も継続している。そのほか、社会福祉活動へ

の参加、精神障害者福祉施設への助成が行政の補助金給付へと発展した。ボーイスカウト・スポーツ少年団への助成などを行っている。2008年4月には市制60周年に併せ碧南市藤井達吉現代美術館が、竣工開館するのに併せ神戸峰男作の彫刻の寄贈がされる。

この10年で印象深いのは、2001年11月の2760地区大会をホスト、碧南市臨海体育館を主会場に、「新世紀への命題—モノからココロへ」をテーマに手作り・ぬくもりの伝わる新世紀初の地区大会を会員が一丸となって無事に成し遂げることができたことである。2002年7月にはホームページの管理などにIT委員会を設置。2003年1月には碧南商工会議所の新築移転に伴い例会場と事務局の移動があった。

2008年5月現在会員79名中、ポール・ハリス・フェロー64名、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー12名、ベネファクター22名、米山功労者48名とRC寄付にも積極的に貢献している。



「すばらしき日々」



地区大会ホスト

一色ロータリークラブ

創立	1962年10月25日	承認	1962年12月3日
チャーター ナイト	1963年5月19日	チャーター メンバー	30名
スポンサー クラブ	西尾ロータリークラブ	分区	西三河分区
会員数	29名(2008年6月末日現在)	例会日時	木曜日 12時30分~
例会場	一色町商工会館 会議室 〒444-0403 幡豆郡一色町大字前野字新田34		
事務局	〒444-0403 幡豆郡一色町大字前野字新田34 一色町商工会内 TEL: (0563)72-8276 FAX: (0563)73-6633 URL: http://www5.ocn.ne.jp/~ishikirc/ mail: ishikirc@gaea.ocn.ne.jp		

■進化の10年

一色ロータリークラブは会員数こそ少ないものの、2007年10月25日に創立45周年を迎えた伝統あるクラブであり、地域貢献を心掛けて活動をしている。40周年記念にはテリトリーである幡豆郡三町の中学校に図書券を寄贈し、地元出身者をメンバーとしたファミリーコンサートを開催した。また昨年の45周年においては三町にAEDを寄贈し、当クラブを生みの親とし結成されたボーイスカウト一色第1団には備品を寄贈した。なお、ボーイスカウトには若者育成の一助となればと毎年助成金を贈呈している。

一色町には三河湾に浮かぶ自然が多く残り美しい佐久島がある。この島の自然と三河湾の浄化を目指し毎年活動をしている。ボーイスカウト一色第1団や島を美しく作る会のメンバーと一緒に海岸清

掃を行ったり、三谷水産試験場で三河湾浄化の観察、「スナメリ」探索例会など。

毎年1月下旬に一色マラソンが開催されており、この大会に協賛している。この大会は今年43回を迎え参加者2,250名という伝統あるマラソン大会である。2007年度大会時にはエアーアーチを寄贈し、私たちもボランティアで大会運営に協力した。

当クラブ特記事項としては、「カーログラントスポート」への参加である。この大会は古き良き文化を大切にしながら社会貢献への一環として開催されるクラシックカーラリーであり、ポリオ撲滅・ハリケーン救済支援・飲料水支援など世界規模の社会貢献を目的としている。これに賛同した当クラブメンバーが参加し我々も応援しているのである。



開催当初より協賛・協力している一色マラソン大会



カーログラントスポート参戦を通して世界規模の社会貢献を…

高浜ロータリークラブ

創立	1969年2月18日	承認	1969年2月26日
チャーターナイト	1969年5月20日	チャーターメンバー	23名
スポンサークラブ	刈谷ロータリークラブ	分区	西三河分区
会員数	40名(2008年6月末日現在)	例会日時	火曜日 12時30分～
例会場	衣浦グランドホテル 〒447-0867 碧南市田尻町1-1-9		TEL: (0566) 41-7171
事務局	〒447-0867 碧南市田尻町1-1-9 衣浦グランドホテル401	TEL: (0566) 46-3364 FAX: (0566) 46-3371	
	URL: www.katch.ne.jp/~tkhm-rc/	mail: tkhm-rc@katch.ne.jp	

■進化の10年

高浜ロータリークラブは39年前、刈谷ロータリークラブを親クラブとして誕生した。第1回の青少年の派遣は高浜ロータリークラブができてから1年目である。ちなみに派遣第1号で38年前の1970年アメリカに留学したのが私の妹である。妹は留学先で同じ留学生と出会い後に結婚し、私もこうしてロータリークラブに入れていただいている。父の世代のロータリー活動が、家族も巻き込んで活発になされた結果である。高浜ロータリークラブはクラブ設立後40年絶えることなく継続しその結果、海外からの青少年交換学生の数は40人、米山留学生を4人お世話してきた。また海外に留学した学生は41人、本年もアメリカからソフィア・マックスタッドさん、高浜から名倉由季さんがアメリカに

それぞれ留学している。そして受け入れた国は12カ国、派遣した国は5カ国、この長い実績は高浜ロータリークラブの誇りである。この活動を始めてから20年目に1冊の記念誌を発行して20年間の青少年交換活動を総括した。この記念誌は当時の熱気をよく伝えてくれている。そしてこの活動によって「意義ある業績」賞、国際交流功労賞などを受賞し、現在ではこの多くの活動が手前味噌の認識かもしれないが地区委員会に継続されていると自負している。1年の間にどんどん成長していく学生の姿も誠に微笑ましく、一生懸命な気持ちは自然にロータリークラブでも何とか応援したいという想いになり、この事業が40年も続いていく一番の原動力である。今後もこの活動を継続したいものだ。



舞妓さんになった交換学生



20年目の総括

知立ロータリークラブ

創立	1991年1月16日	承認	1991年2月1日
チャーター ナイト	1991年4月27日	チャーター メンバー	31名
スポンサー クラブ	刈谷ロータリークラブ	分区	西三河分区
会員数	65名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分~
例会場	知立セントピアホテル 〒472-0033 知立市中町中128		
事務局	〒472-0033 知立市中町中128 知立セントピアホテル510号室 TEL: (0566)84-2760 FAX: (0566)84-2761		
	URL: http://www2.aimnet.ne.jp/chiryu-rc/ mail: chiryu-rc@aimnet.ne.jp		

■進化の10年

創立10周年は、2001年3月17日に「感謝の10年 友情と奉仕の21世紀」と題して、地域から多くの団体を招き交流を深める式典を開催した。記念事業として、18団体に及ぶ地域の奉仕活動団体への支援金寄贈、知立市文化会館へどん帳寄贈、財団・米山への寄付などを行った。

15周年にはWCS事業として、国連地域開発センターの協力を得てタイ・ナコン・ラチャシーマ市(通称:コラート市)の「家庭用排水処理施設の設置」を行った。この事業は、汚水の河川への垂れ流しが河川の汚染や疫病の原因にもなっている状態にあるタイの地方へ、排水処理浄化槽26基を寄贈したものである。現地事前視察から始まり、同年12月に起工式、翌2006年1月には贈呈式が行われ、コラート市より感謝状をいただいた。また、淨

化槽を設置した各家庭には記念プレートが掲げられている。このWCS事業は、ロータリーが提唱する「水保全」にもタイムリーな事業となり、浄化槽を設置した地域の住民の環境意識の向上と環境浄化にも有意義なものとなった。WCSが初めて身近に感じられたことも大きな収穫であった。

1997~'98年度に発足した「杜若大賞」は、内容をより充実させながら継続事業として定着している。この「杜若大賞」は地域のボランティア団体の功績を表彰し、活動支援金を贈呈するもので、地域でのロータリークラブの周知、また会員の奉仕への意識の向上にも一役を担っている。知立ロータリークラブ独自の「杜若大賞」を地域に根付いた事業として継続していくといきたいと願っている。

2011年には創立20周年を迎える。



WCS事業 タイ・コラート浄化槽贈呈(2006年1月25日)



杜若大賞表彰式(2008年3月26日)

西尾 KIRARA ロータリークラブ

創立	1991年7月5日	承認	1991年7月26日
チャーターナイト	1992年5月10日	チャーターメンバー	51名
スポンサークラブ	西尾ロータリークラブ	分区	西三河分区
会員数	58名(2008年6月末日現在)	例会日時	金曜日 12時30分~
例会場	西尾信用金庫中央支店内2階 大会議室 〒445-0845 西尾市永楽町3-45		
事務局	〒445-0845 西尾市永楽町3-45 西尾信用金庫中央支店内2階203号室 TEL: (0563)54-0123 FAX: (0563)54-0800		
	URL: http://www.kirara-rc.jp mail: office@kirara-rc.jp		

■進化の10年

1998年度は、クラブ創立8年目に入り、ロータリー活動に積極性が増し、他クラブに先駆けてホームページを開設した。

2000年1月21日に、韓国釜山五六島RCと友好クラブ提携をし、国際ロータリー奉仕活動の第一歩を踏み出した。

2001年の創立10周年には、韓国へ「中学生海外文化体験の旅」を催行した。そして、加納隆ガバナー補佐の活躍と、主催したIMの盛況は、当クラブの誇りになった。記念事業の大平光代講演会に2,000名を超える市民参加は圧巻だった。また、当クラブ初の青少年交換留学生を受け入れ、米国の女子高生で例会の楽しさが増加した。

2002年には、2760地区初の同額補助事業を釜山五六島RCと実施。韓国釜山の身体障害者施設へコンピュータ設備を贈呈し、その施設訪問を行つ

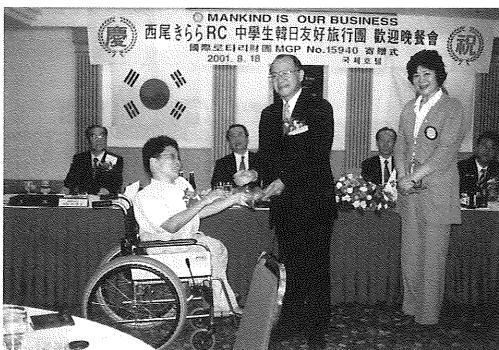
た。スペイン国際大会に総勢23名が参加できたことも当クラブ飛躍の企画だった。

2003年度は、釜山五六島RCから韓國の小中学生を受け入れて友好がさらに深まった。

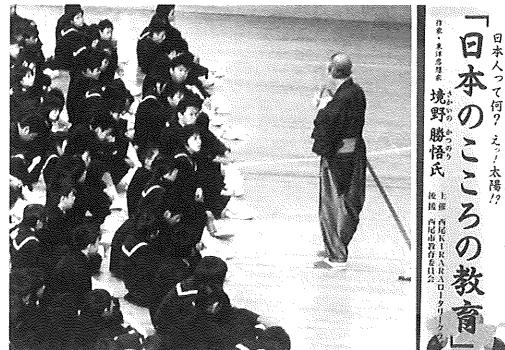
2004年度に男子の青少年交換留学生を受け入れた。5月の大阪国際大会へ参加し、日本・韓国・米国、3つの国のロータリアンが集まっての友情に満ちた親睦夕食会が開催できた。

創立15周年の2006年には、境野勝悟氏を招請して教育講演会を開催。中学生3,000人に「日本人のこころのあり方」を論じていただき、かつてない規模と成果を残した。

当クラブは、1993~'94年度より、社会奉仕活動の一環として「西尾KIRARA賞」と名称した顕彰事業を継続し、2007年までに個人16名、団体15の顕彰を行っている。



同額補助の目録を釜山市の女性障害者団体の代表へ手渡す



境野勝悟氏による「日本のこころの教育」講演風景

三河安城ロータリークラブ

創立	1999年12月21日	承認	2000年1月5日
チャーター ナイト	2000年5月13日	チャーター メンバー	34名
スポンサー クラブ	安城ロータリークラブ	分区	西三河分区
会員数	58名(2008年6月末日現在)	例会日時	水曜日 12時30分~
例会場	ホテルグランドティアラ安城 〒446-0054 安城市三河安城南町1-8-11		TEL: (0566)72-1122
事務局	〒446-0059 安城市三河安城本町1-31-2 NCDビル101 TEL: (0566)71-0630 FAX: (0566)71-0631 URL: http://www.katch.ne.jp/^rc52961 mail: rc52961@katch.ne.jp		

■進化の10年

2004年度より3年間にわたり、EM菌放流事業を行った。

当クラブ創立6周年を迎えた2004年、6代目竹内会長の方針「社会奉仕プログラムへの取組み、スタート」に基づき、『次世代に美しい山・川・海を』をテーマに、当時の湖沼の中で常にワースト5に属していた“油ヶ淵”を私たちの手でEM菌(有用微生物群)を使い、浄化の一助になることを試みた。

13の会員事業所にて毎月約30トンのEM活性液を培養し、長田川、半場川などに放流、その水が目的の油ヶ淵に流れ、浄化させようというものである。市環境部の水質検査結果からは少しづつだが浄化され良い方向に推移している、という結果を得た。翌2005年度の小西会長も方針の1つ

に水質浄化を掲げ、継続事業とした。中日新聞紙面に活動報告をPR、また2006年度堀尾会長の方針「地域の環境計画と連携して奉仕する」を受けて継続を決定。地元ボランティアグループ・ビガジョガリ4・6の“新田川・半場川クリーン大作戦”にてEM培養液4トンを放流し、例会にて数々の環境をテーマの卓話を行い、また意見交換会を開催し環境への意識を改めて確認した。

3年間、総EM培養活性液放流量1,001トン、総事業費約350万円、参加事業所41事業所。会員の理解と協力、また会員事業所の方たちの多大なる協力に感謝。なお、現在自主的に会員の6事業所にてEM菌培養・放流し、浄化活動を継続している。



中日新聞西三河版 2005年10月29日掲載記事
(この記事は中日新聞社の許諾を得て転載しています)



半場川にEM培養液4トンを放流、水質浄化をPR